公益社団法人日本柔道整復師会·機関誌 www.shadan-nissei.or.jp

VOL. 234 SEPT. 2015

◎連載その⑧ チンギスハーンの国 21





苍頭 言。唯一助…副会長 萩原正和1

◎第23回WSJ(ワールドスカウトジャンボリー)に「日整ブース」開設の報告 3

◎2015年度日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト第一回日本研修閉講式 8

◎柔整サロン 災害時の被災者支援 柔道整復師はケガの処置と健康指導 秋富慎司 15

●目次

● 巻頭言 躍動 副会長 萩原 正和
■ 第23回 WSJ(ワールドスカウトジャンボリー)に「日整ブース」開設の報告 3
■ ◎2015年度日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト
第一回日本研修閉講式8
柔整サロン 柔道整復師はケガの処置と健康指導 秋冨 慎司15
■ 第8回日整柔道「形」講習会を開催19
● 連載その⑧ チンギスハーンの国
● 理事会だより
● 会務執行状況
● 平成 27 年度日整主催学術大会 ········27
● 学術シリーズ(第24回)月状骨脱臼と舟状骨骨折を伴った月状骨脱臼の治験28
本の紹介 腸内細菌と共に生きる
■ 柔道国際医科学シンポジウム発表者募集のお知らせ ·······33
● 学術大会会員発表動画配信34
日整 HP からご覧いただけます······35
投稿 全国柔道高段者大会会員3名表彰される36
● 日整フォーラム 国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります38
北海道 山形 埼玉 千葉 山梨 東京 静岡 愛知 京都 香川 愛媛 福岡 佐賀
● 日整文芸
● 編集後記
● 表紙解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

●Web Page 日整ホームページ http://www.shadan-nissei.or.jp/

トップページの最新情報、健康情報誌「日整広報はつらつ」VOL.234 または「日整はつらつバックナンバー」から入り当ナンバー広報誌を クリックしてご覧ください。QRコードもご利用ください。



巻頭言



躍 動

公益社団法人日本柔道整復師会 副会長 萩原 正和

全国の会員皆様方におかれましては、ご健勝 にてお過ごしされていることと存じます。

2015年6月の日整役員改選により多くのご支援をいただきまして、副会長の重責を再度、務めさせていただくことになりました。工藤会長が掲げる組織強化と大同団結という目標を胸に、各部少人数精鋭体制にて役員全員で種々各部事業を日々執り行っているところでございます。日頃より会員皆様におかれましては、会務の運営にご理解とご支援を賜っておりますこと、心より深く感謝申し上げます。これまで以上に公益活動と最重要業務に関する事柄を充実させながら、会員皆様の目に見える状態での実行を執行部全員で目指しております。

最も重要な療養費に関しては、三橋保険部長を中心に柔道整復療養費専門検討委員会を見据えて小会議などで検討を重ね、データや理論に基づいた資料作り、更に厚労省との協議も引き続き行っております。情報発信と行動を大切に、医療課より日整ホームページに近々の情報を発信しておりますので、ぜひ毎日の営業にご活用ください。

また、11月には全国都道府県の保険部長会議

の開催予定をしております。各県からの諸問題 への対応等、この機会に議論、解決できればと 思っております。

介護課においては、地域包括ケアシステム参入を促すとともに柔道整復師による生活機能向上の事例集作成計画を進めております。柔道整復師が関わることによる生活機能向上の効果を対外的に伝えることができるよう早急の作成を目指しております。

国際部におきましても、多くの方々のご協力もあり、モンゴル准医師の夏期日本研修が無事に終了いたしました。このたびは北海道での研修でしたが、私も間近で彼らの成長を見守ることができ、その吸収力の高さ、技術獲得に対する熱意を感じ取ることができました。こうした研修などJICAからの委託事業は来年の8月で終わりを迎えますが、これまで国際部をはじめ、非常に多くの方々のご協力、ご理解なしには継続した活動を成し得なかったと、改めて感謝いたす次第です。

今後、委託事業はなくなりますが、モンゴル を含め世界中へ柔道整復術を普及すべく、計画 性を持って行動に移していく必要があると改め

て感じております。といいますのも、日整にお いて三大大会の一つと位置付けを行っている 「世界スカウトジャンボリー2015」が7月末か ら山口県で開催されました。暑さが厳しい天候 にもかかわらず、世界中から3万人を超える 方々が来場されましたが、その中で私も視察を 兼ね広島県、山口県の会員の方々と共に柔道整 復術のアピールをしてまいりました。活動の中 で、我々の技術や歴史を説明すると興味を持た れる方が非常に多く、予想以上の手応えを感じ ました。欧米、アジア、オセアニアなど国籍を 問わず、我々の技術をきちんとアピールすれば、 必要としている国々や人々は見つかるという感 触がありました。柔道整復師が国内において認 知度が低く、不正請求等マイナスのイメージが 多い中、海外において認知度と供給の場をつく り、海外での実績とともに国内にアピールすれ ば、印象も大きく変わるのではないかと思って おります。認知度を上げることで、海外で活躍 できる柔道整復師も増加することも考えられ、 これは柔道整復師の更なる職域拡大を示すこと に繋がります。

柔道整復師が今後更に活躍、アピールできる場として、三大大会の2つ目の大会であるラグビーワールドカップ2019、そして、3つ目の大会である東京オリンピック・パラリンピック

2020があります。次の大会で何ができるのか、 開催都道府県だけではなく、全国の社団が一丸 となって協力、連携し、柔道整復師の活動のフィールドを開拓していただけるよう、今まで以 上の取り組みと準備をお願い申し上げます。厳 しい環境の中ではありますが、一人でも多くの 会員の皆様が活躍されますよう、心より期待し ております。

また、国民への啓蒙活動の一環として、個人的に朝日新聞北海道版を通じて去年6月から毎月始まった「けんこう処方箋」での柔道整復術の紹介ですが、公務多忙につき7月で終了としました。今後は、また何か別の形で国民への周知活動を行えればと思っております。

全国各地域での日整主催の学術大会も半分が終わり、それぞれ大きな成果を挙げております。このほかにも多種の課題が日整の前には山積しておりますが、執行部として今後の日整活動も精力的に進めていく予定です。しかし、計画や実行には当然ながら、全国の会員皆様方のご理解、ご協力が不可欠です。皆様からの温かく強力なご支援をいただくことで日整組織は躍動していくことができますので、引き続き日整への力強いお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

第23回 WSJ(ワールドスカウトジャンボリー) に 「日整ブース」開設の報告

日整の三大世界大会の第一弾終了

総務部

概要

平成27年7月28日から8月8日までの12日間、山口市キララ浜で開催された「第23回WSJ(ワールドスカウトジャンボリー)ジャパン2015」に公益社団法人日本柔道整復師会(以下、日整)のブースを開設した。

これは、日整の公益性の観点、並びに、昨年6月の工藤鉄男日整会長「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」顧問就任などから、かねてから実施の日整会員による各種大会等でのスポーツ支援等をより拡大し、柔道整復師のスポーツ参画を世界に発信すべく、昨年9月に日整の新組織として「2020東京オリンピック・パラリンピック、2019RWC、2015WSJ準備本部」が設置され、各都道府県柔道整復師会が実施体制となったものの、第一号としての取り組みである。

本年7月28日から8月8日までの12日間、山口県キララ浜で、我が国2回目のWSJが開催され、152の国と地域から3万3838人のスカウトとそのリーダーが参加した。ここに、「カルチャースタディブース」として「日整柔道整復コーナー」を設置、実行した。

今回のWSJのテーマである「和: a Spirit of Unity」の下、我が国特有の柔道整復の「活法」での伝統治療と現状とを資料で説明し、更に柔道整復師による「テーピング、柔整マッサージ実技」をも実施した。

マニュアルセラピーの学習は、世界各国で初 耳(It's news to me)が多く、また、実技効果は 各国の高校生、中学生から絶賛との評価を浴びた。





今後は、柔道整復(JUDO Reduction)、柔道整復師(JUDO Therapist)を欧州中心に周知徹底を図り、ラクビー、オリンピック等の世界大会での選手、マスコミカメラチームへの接触活動の展開を行い、我が国へは逆輸入での形も考慮し、柔道整復師の名を世に広めることが望ましく感じられた。また、アジア地域での類似技術の情報収集も肝要である。

今回、猛暑のキララ浜での柔整ブースであったが、ご尽力いただいた、広島県柔道整復師会の山﨑健司会長、石川勝也会員、木村克会員、柳樂美作男会員、山口博子準会員、山口県柔整師会の野中弘仁理事、村井康彦理事、吉田誠理事、誠にありがとうございました。また、萩原



正和日整副会長、札幌からの参加は暑さ厳しき ところ、感謝いたします。

カルチャーブース開設結果報告

- 1 開設日時 平成27年7月30日木曜日、31日 金曜日、8月1日土曜日 3日間
- 2 ブース開設時間 9:00-12:00、14:00 -17:00 (8月1日は14:00-15:30)
- 3 場所 山口県宇部市キララ浜 特設カルチャーブース (全60カルチャーブースのうち、日本ブース30の一つとして参画)
- 4 対応

(公社) 日本柔道整復師会 萩原副会長 事務局2名

(公社) 広島県柔道整復師会 山﨑会長 石川会員 木村会員 柳楽会員 山口会員 (公社) 山口県柔道整復師会 野中理事 村井理事 吉田理事

参考 日本鍼灸師会は理事10人、学生10 人、業者1社での参画

- 5 目的
 - ①参加スカウト(14歳から17歳、参加152ヶ国、 3万3838人)のカルチャースタディーで、 日本の伝統医療である柔道整復の概要、柔 道整復師の活躍を伝える。



- ②世界での柔道整復、柔道整復師の知名度調査
- ③各国のマニュアルセラピーの現状調査

など

- 6 教材・実技
 - ①教材 2種類 (中学生用、高校生用): 2 言語 (英語、日本語)
 - ②実技 テーピング、マニュアルセラピー(手 技)、吊巾など





7 結果

①講義スタイルでの説明について 当初には、挨拶での柔整コーナーの趣旨、 柔道整復の歴史説明、現状説明、テーピン グ実技、柔整マッサージ実技、Q&Aとの 60分1フレーズを計画したが、実技リクエ スト者が多く、また、パンフレット配布時 での内容理解者も多くなったことから、各 フレーズの枠を外し、講義スタイルを変更 し、個別自由説明スタイルとした。

②訪問スカウト数

1日目—209名 2日目—245名

3 日目-229名 計683名

リーダー数

1 日目―28名 2 日目―38名

3 日目-30名 計96名

合計779名

③国籍等

アメリカ、カナダ、メキシコ、ペルー、チリ、ブラジル、日本(静岡、福井、鹿児島、 熊本、宮崎、愛知)

39の国と地域

8 今後の展開

○世界大会支援等については、先進10か国程度については、マニュアルセラピー等の実情を詳細に調査して、選手支援活動の企画立案の必要がある。



- ○スポーツ選手への支援については、各種目 ごとに、プレー中での医師等との連携、プ レー後のリカバリー実施の程度、場所、建 物などを検討し、組織委員会等との打合せ を実施する必要がある。(種目別には、全 国アンケートの早急なる実施が肝要)
- ○マスコミ関係 (カメラマン等) への支援の 検討

日本の伝統医療 柔道整復術を世界の若人に

広島県柔道整復師会準会員 IGL医療福祉専門学校専科教員 山口 博子

今年の夏、山口市阿知須きらら浜で開催された第23回世界スカウトジャンボリーの日程の一部、7月30、31日に参加し、日本の柔道整復術を紹介しました。

世界スカウトジャンボリーは、4年に1度開かれる世界スカウト機構主催の大会です。3,000万人以上が参画する世界最大の青少年運動組織で、152の国と地域から約3万人の青少年が集まり、約2週間にわたって、キャンプをしながら「世界の仲間」と体験を共有するというものです。日本での開催は44年ぶりとのことでした。

山口県での開催ということで、広島県柔道整 復師会の山﨑健司会長より、勤務先のIGL医 療福祉専門学校に参加募集がありました。柔道 整復術を世界に発信するという会長からのお話 に対し、意気に感じて本校から柳樂美作男柔整学科長と私が参加することになりました。個人的に以前から国際交流に興味があり、今までも柔道を通じてフランスとチュニジアの方々や、勤務先の学校では中国とベトナムの留学生と交流しています。今回参加を許可してくださった会長と、快く送り出してくれた勤務先に感謝です。

29日の夜に打ち合わせを行いました。広島からは、山﨑会長、石川勝也先生、木村克先生、私たちの計5人の参加です。日整の宮澤清和局長と事務局の髙橋啓補さんが2人で来られ、概要の説明をしてくださいました。パンフレットやパワーポイントは用意していただきましたが、細かい実技の内容は現場での参加者の反応に応じて臨機応変に行うことになりました。

ボーイスカウトということで小学生くらいの子供を想定していましたが、ほとんどが高校生以上の参加者でした。巨大なテントの中でのブースは両日ともカンカン照りで、テント内にも関わらず日焼けするほど日差しが強く、気温も常に35℃以上ありました。また会場は他ブースの音楽などでかなり騒々しく、見学者1~4人に1人ついて話さないと声が聞こえない状態で、英会話に堪能な局長に頼ることも難しい状況でした。このような状況の中、2日目には日本柔道整復師会の萩原正和副会長とお嬢様の和香奈先生が応援に来てくださって、和香奈先生の英語力を駆使して助けていただきました。

用意されていた英語のパンフレットを参考にしつつ英語で整復法を説明し、続いて固定実技を行いました。包帯は体験者からこのまま着けておきたいという要望が多数あり、もっと用意しておけば良かったと思いました。包帯法や副子を用いた固定等さまざまなデモを行いましたが、たたみ三角巾による顎の固定に興味を示す参加者が多かったのは意外でした。

また、石川先生や木村先生が実技デモの一環として捻挫症状等を訴える参加者への手技とテーピング施術デモを行ったところ、痛みが軽快し大変喜ばれました。そのほかにも肩、腰、膝等の不調がある人に対して施術デモを行いました。これにより、柔道整復術の有効性をある程度実感してもらえる機会になったと考えます。ただ、手技を見ていた参加者にマッサージを行うブースだと勘違いされ、単なるマッサージではなく外傷の後療法であることの説明をするのに苦労しました。

参加者の国籍はイギリス・アルジェリア・スペイン・イタリア・台湾・香港・日本・インド等、さまざまな国の若い人が興味を持って参加してくださいました。2日間で見学者417人、

体験者103人でした。

これほど多国籍の方が集まるイベントでは参加者の宗教もさまざまです。イスラム教徒の女性は治療であっても男性に触られてはいけないとのことで、そのような方は私しか対応することができず、改めて女性施術者の必要性を感じました。



日本を含め儒教思想の影響を受けた国々では、体にメスを入れることに抵抗があり、非観血療法が重要視されますが、手術することに抵抗がない国では、非観血療法の良さがピンと来ない方もいらっしゃいました。今回の体験デモについても、儒教の影響のあるアジア系の方からの反応が良かったように思います。柔道整復術についても、それぞれの国や宗教によって受け入れ易さに違いがあり、それぞれの状況を考慮した上で工夫が必要だと考えます。

今回のように多くの国の人が集まるイベントでは、私の取った行動が日本人への印象を左右するかもしれないと思うとプレッシャーも感じましたが、柔道整復術を含む日本文化や日本人の良い印象を与えることができれば、世界平和に近づくことができると考えます。今後も機会があれば積極的にイベントに参加していきたいと思います。

ジャンボリーを経験して

山口県柔道整復師会会員 野中 弘仁

通常、柔道整復業務として痛み等を訴える患者さんと接するわけですが、ここでのミッションは柔道整復師のPRです。手法として前日までの考えでは、包帯法やテーピングにてレクチャーをしながら一部体の不調を訴える人にはその部位に応じ手技にて対応しようというものでしたが、実際現場に行ってみると、言葉は通じない(我われの語学では…)柔道整復師を知らない、しかしながら前日までの活動もあるのでしょう。なにか「体に対していいことをしてくれる人たちがいるらしい」という好奇心でブースに入りきれないほどの人たちが集まってきているのです。

そこで、レクチャー形式の「教える→分かる
→理解する」というものではなく「とにかく柔 道整復師としての手技を体感してもらう」とい うことにし、座位にて軽擦法、仰臥位にてスト レッチ、一部脊柱の矯正等施行することで「体 に対してリフレッシュ感」を与えることができ たのではないかと思っています。おかげさまで ほとんどの人から「good!」「thank you!」と いった言葉をいただくことができ、世代を超え 言語を超え、国境を越え、柔道整復師の手技は



素晴らしいものだと感じてもらうことができたことを実感しています。このことは参加した我われにとっても改めて自分の業務に対する新たなモチベーションの向上にもなりました。

最後にさまざまな国の人たちに我われ柔道整 復師としての手技でたくさんの方が喜んでいた だいたことを誇りに思うとともに、このような 機会を与えてくれた(公社)日本柔道整復師会を はじめとする関係者各位には心から感謝いたし ます。



広報部

モ沙ゴル全国民区役立てる

モンゴル人准医師が研修成果を報告



公益社団法人日本柔道整復師会(日整)は、2015年度日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト(以下、プロジェクト)の第1回日本研修閉講式を平成27年8月4日(火)、東京ドームホテルにおいて関係各機関から来賓を迎え厳粛な雰囲気の中で開催した。このプロジェクトは、本会が独立行政法人国際協力機構(JICA)の支援を受け、草の根技術協力パートナー型として2011年9月から5年計画により、モンゴル国内においてモンゴル人のみで柔道整復術普及活動が行われる体制づくりを目的としている。そして指導者候補を日本に受け入れて年2回の研修を企画している。

今回はモンゴルの気候に似ている北海道で実施した。研修先は函館市にある日整会員の接骨院・整骨院、小樽市の済生会小樽病院整形外科であった。約2ヶ月間にわたる研修成果をムンフバートル・ボロルチメグ准医師(4回目)、ダシュラウダン・ボロルトゥーヤ准医師(4回目)、エンフタイワン・トゥブシンバヤル准医師(5回目)の3名が報告。診察法・超音波検査法・骨折の保存療法と固定技術・手術療法からリハビリテーションまで幅広く学んだことをプレゼンテーションした。

その高い習得能力と向上した説明力に称賛の拍手が送られ、余韻に浸る中、JICA東京国際センターNGO連携課の橋口道代専任参事と工藤鉄男日整会長から受講証明書が授与された。続いて済生会小樽病院院長補佐の櫛引久丸事務部長から修了証が手渡された。

引き続き懇親会が開かれ、熱意のこもった研修報告と高邁な日整の公益事業に対し、来賓の方々から「しっかり支援したい」旨の心温まるご挨拶をいただいた。今回が最後の研修となり、モンゴルで医師を目指すトゥブシンバヤル准医師は、5年間の研修活動を振り返り満腔の謝意を表した。そしてプロジェクト立ち上げに尽力され、故人となられた日整国際部の亀山実先生の功績を偲び「先生のご遺志を受け継ぎ、必ず柔道整復術を広め、ご恩に報います…」と声を詰まらせた。

静寂に包まれた雰囲気の中、工藤会長は「報恩感謝の温かい心に、日整を代表して敬意を表します」と述べ、准医師3名に記念品を贈呈した。

工藤会長 閉講式挨拶 (要旨)

医療インフラ整備が必要な国々を支援



日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成: 普及プロジェクトの2015年度第1回日本研修 閉講式に、ご来賓として衆議院議員の逢沢一 郎先生をはじめ、事業遂行にお力添えをいた だいている皆様にご臨席を賜り、誠にありが とうございます。お陰をもちまして今回でト ータル8回目の閉講式を迎え、モンゴル国に おいて柔道整復術の指導者となるモンゴル人 候補を継続的に育成しているところでありま す。柔道整復術は開発途上国の中で必ず受け 継がれ、その有用性は世界の国々に広まるで あろう、という国際的視野に立って本プロジ ェクトをスタートさせました。そしてスター トのときに外務省ODA、JICAの皆様をはじ め関係者の皆様には多大なご支援とご指導を いただきました。その中のお一人であり、特 に外務省との橋渡しで方向性を見出していた だいた方が逢沢先生でございます。爾来、先 生にはこの閉講式ならびに開講式に万難を排 してご臨席いただいており、心から厚くお礼 を申し上げ深甚なる敬意を表します。

開発途上国の医療技術を振興している国際 医療技術財団代表理事の小西惠一郎先生がお

見えになっております。平成24年に同財団主 催の「カンボジア国際セミナー」におきまし て日本の伝統医療である柔道整復術を紹介し てまいりました。年内の予定ではやはり同財 団が主催する「ベトナム国際セミナー」で、 ベトナムの医療技術および医療サービスの向 上に寄与することを目的に、柔道整復術を紹 介するミッションになっております。柔道整 復師の徒手整復技術は、医療インフラが未整 備の国々の人たちにとって必要な技術として 高く評価され、徐々に広まっていることを皆 様にご報告させていただきます。これからモ ンゴル国の准医師3名が北海道で学んできた 成果を発表します。内地の研修と違う技術、 人との出会いの大切さ、伝統文化などを学び、 更に人格も高められたものと思います。

さて、今この時間に日本柔道整復師会は、 萩原正和副会長を筆頭に日整の保険部を中心 としたスタッフが厚生労働省へ足を運んでい ます。そして柔道整復療養費に関する意見交 換会で論議を重ねております。この意見交換 会は新しい方向性を見出す端緒でもあります。 日本柔道整復師会が厚生労働省からこのよう な機会が与えられるということは、海外普及 事業プロジェクトの実証とそれを支援してい ただいた外務省、JICA、顧問の先生方など 多くの皆様の総合力により、我々のテーブル が作られているからです。ここに改めて衷心 より感謝申し上げます。日本のためにも日本 柔道整復師会は、これからも質の高い新しい 技術を世界に発信していく努力をさせていた だきます。ご来賓の皆様をはじめ関係各位に は一層のご支援とご指導を切にお願い申し上 げます。

閉講式は午後4時から国際部の田澤裕二部員の司会で始まり、松岡保副会長の開式の辞により厳かに進んだ。挨拶に立った工藤会長はご来賓に対して深甚なる感謝の意を表した後「柔道整復師の徒手整復技術は、医療インフラが未整備の国々の人たちにとって必要な技術として高く評価され、徐々に広まっていることを皆様にご報告させていただきます」と述べ、利他の精神に立脚した海外普及活動が柔道整復師の発展と国際化に繋がっていくことを示唆した。(要旨は前頁に掲載)

《来賓挨拶》

国際社会から期待される"崇高な志"



▲逢沢先生

最初に来賓の挨拶として、本プロジェクト立ち上げ段階からご指導をいただいている衆議院議員の逢沢一郎先生は、8回目を迎えた閉講式に当たりお祝いの言葉を述べられた。

そして既に日本の研修を経て習得した技術を、 モンゴルの地で遺憾なく発揮していただいてい る人材が育っていることに対し、感謝と敬意を 表された。更にモンゴル国において、この事業 への期待値が高まっていることを、外交ルート から認識している旨を話された。

また、カンボジアやベトナムなどの途上国においても柔道整復術を紹介していく段取りと準備が整いつつあることを高く評価され、柔道整復術の海外展開は途上国の方々の保健・福祉の増進という福音をもたらす"崇高な志"であることを語られた。

先生は本プロジェクト立ち上げの経緯と展望について「何年か前に工藤会長から柔道整復師会は海外で頑張ろう、そういう気持ちを持っているが、どうだろうか。こうした相談をいただいたときに、私は大変感動いたしました。早速、外務省とJICAの方々に意向お伝え申し上げ、その後、プロジェクトを立ち上げ活動を展開してまいりました。この素晴らしい事業がこれからもご関係の先生方の参画と強い意志の中で更に展開され、大きな意味で国際社会における日

本の評価、日本への期待に繋がるものであることをお互いがしっかり受け止めながら頑張ってまいりたいと思います」と力強く述べられた。

事業の価値観を共有



▲橋口専任参事

次に来賓の挨拶に立ったJICA東京国際センターNGO連携課の橋口道代専任参事は、3名の准医師にそれぞれ労いの言葉をかけられた。モンゴル国において柔道整復術の普及

に資する人材育成については「柔道整復術の技術習得に併せて日本の伝統や日本人の心をモンゴルの方々に少しずつお伝えしているのではないかと思います。日本で学ばれたことを帰国後に十分活用していただき、その向上に励むとともに積極的な普及活動を展開していただきたいと思います」と述べ、更なる期待を込められた。

そして本プロジェクトの発展と成果を残すために、JICAは持続的に支援し一緒に努力すると話され、その価値観の共有を示された。

日本の支援と協力に感謝



▲エルデネダワー参事官

次に来賓の挨拶に立った駐日モンゴル大使館のL.エルデネダワー参事官は、25年前に日本から物心両面の援助を受けてモンゴル国が民主化され、さまざまな分野が発展してき

た背景について触れた。その中で、日本柔道整復師会がJICAの協力を得て本プロジェクトを実施していることに感謝の意を表し、柔道整復術普及事業がモンゴル国において高く評価されていることを報告された。そして地方医療だけでなく、モンゴル全国民の保健・福祉に役立つ仕事であることを強調され、本プロジェクトの長い継続的な実施を願った。

逢沢先生に対して「先生の多大なご支援とご協力でモンゴルと日本の関係が非常に高いレベルまで発展し、戦略的パートナーシップというレベルまで発展してきました。モンゴル政府を

代表して心から感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べられた。そして立派に人材を育成して 恩返しをしていきたい旨を語られた。

《研修成果報告》

准医師

ムンフバートル・ボロルチメグ (4回目) 骨折の保存療法と手術療法を学ぶ



今回で4回目のボロルチメグ准医師は、前半の1ヶ月、函館市の「はなじり接骨院」で研修された。まず膝の痛みについて学び、その原因がケガによるも

の、スポーツ障害によるもの、骨の劣化による もの、その他いろいろあることを教示していた だいたと報告。そして患者さんの訴えと違う部 位に原因があることもあり、慎重に対応しなけ ればいけない、と内容を分かりやすく語った。 このほか右第4指基節骨骨折の患者さんを初検 から観察することができた。そして基節骨骨折 と中手骨骨折の臨床所見の違いを先生から教え ていただいた貴重な症例であったことを付け加 えた。

後半の1ヶ月は小樽市の「済生会小樽病院」整形外科で研修された。鎖骨骨折、半月板損傷などの初診時の症状とレントゲン・CT・MRI画像、その手術を見ることができたと報告。肘部管症候群(尺骨神経麻痺)のテスト法なども教えていただき、その前方移動術を見させていただいた。初めて大きな病院で整形外科の検査や診断法などを学び、それぞれの疾患の特徴を知ることができた、と結んだ。

准医師

<u>ダシュラウダン・ボロルトゥーヤ</u> (4回目) 寸暇を惜しまず勉強



今回で4回目のボロルトゥーヤ准医師は、前半の1ヶ月、積極的に超音波画像観察(エコー観察)を取り入れている函館市の「工藤整骨院」で研修された。

若木骨折や骨端線離開など子供のケガが多いので、整復法やエコー観察法を学び臨床経験を積むことができたと報告。更に仕事の後や休日などの寸暇を惜しまず、先生から勉強を教えていただいたと話し、旺盛な向学心を披歴した。

エコー観察は人体に悪影響なく、骨・筋肉・ 靭帯・腱などの状態を早く判断することができ るので、一番興味を持ったとのこと。そしてモ ンゴルの地方で超音波検査を取り入れて役立て たいと強調した。

後半の1ヶ月は「済生会小樽病院」整形外科で研修された。骨折をはじめ整形外科的疾患の初診、入院、手術、リハビリ治療まで見学できたことを成果とし、分かり易くプレゼンテーションした。そして骨折の術前のレントゲンと手術中の実際の骨折を比較できて感動した。また、術後のリハビリ治療では先生と一緒に他動運動や関節角度を測ることができて大いに勉強になったと話した。今は知識が足りず、更に研鑽を積まないと症状を見て適切な判断ができないと述べ、謙虚な姿勢を見せていた。

准医師

エンフタイワン・トゥブシンバヤル (5回目) モンゴル全体を助ける



今回で5回目となる トゥブシンバヤル准医 師は、前半の1ヶ月、 函館市の「いながき整 骨院」で研修された。 エコー検査法・整復 法・固定法などを中心

に学び、実際に橈骨遠位端若木骨折の整復の助手を務め、整復前と整復後のエコー検査を教えていただき、良い経験になったと話した。稲垣先生の紹介により肩関節の専門医である「ながさわ整形外科」でも研修を行い、肩の診察と手術、リハビリテーションなど見学させていただき、目的を達成できたと語った。

後半の1ヶ月間は「済生会小樽病院」の整形外科で研修された。6名の整形外科の先生から診察の仕方や考え方を学び、多くの外傷の手術を見学することができた。病院はレントゲン・CT・MRIなどで検査し診断する。しかし、接骨院では問診・触診・徒手検査で判断すること

ができるので、医療設備が不十分なモンゴルの 地方でこの技術を活かせればモンゴル全体を助 けられるのではないかと思う、と力説した。

《受講証明書と修了証を授与》

研修成果を報告後、JICA東京国際センターの橋口専任参事と工藤日整会長から3名の研修生に対し受講証明書が授与された。続いて済生会小樽病院院長補佐の櫛引久丸事務部長から修了証が手渡され、萩原正和副会長の閉式の辞により成功裡に終了した。



報恩感謝の温かい心に敬意 研修生を称えた懇親会

『モンゴル相撲と柔道整復術』と 称されることを期待

引き続き多数の来賓を迎え、松岡副会長の開 会の辞により懇親会が開催された。来賓の挨拶 に立った外務省国際協力局総括課の藁谷栄上席



▲藁谷上席専門官

専門官は、モンゴルの 人々のために固い意志 を持って柔道整復術普 及事業を遂行している ことは非常に素晴らし いことであると述べら れ、柔道整復師の未来 を背負う日整を称賛さ

れた。そして他の国でも事業を展開することを 祈念された。母国のために情熱を燃やし研修に 励む研修生には、その愛国心に敬意を表された。

川松真一朗都議会議員も挨拶の中で、研修で得た多くの体験・経験を母国で活かすことを祈念された。また、2019年のラグビーワールドカップと2020年のオリンピック・パラリンピックを日整と連携して成功させたい旨を述べられた。

乾杯の挨拶に立った産経新聞東京本社ウエーブ産経推進本部の楠崎正人事務局長は「研修生の皆さんには、短い期間の中で学ぼうとするひたむきな努力にいつも感動させられています。



▲楠﨑事務局長

これまでに何度か研修 報告を聞いております が、日本語が非常にお 上手になり、患者さん とのコミュニケップ とのコミュニケップ とのコミュニケップ して いるように思われまし モンゴルに帰られまし

たら柔道整復術を普及させていただき、将来は 『モンゴル相撲と柔道整復術』と称されること を期待しています」と述べられ、海外普及活動 のますますの発展を祈念して、声高らかに祝杯 を挙げた。

《研修先医療機関からの評価》

済生会の事業に合致

北海道でお世話になった研修先から来賓を招き、ご挨拶をいただいた。最初に「済生会小樽病院」院長補佐の櫛引久丸事務部長は、3名の研修生の人柄の良さに多くの職員が好感を持ち、病院としても感謝していると語られた。

済生会の設立の趣旨について「私ども済生会は365施設ありまして、日本最大の医療福祉グループです。済生会は明治天皇の済生勅語から創設されました。理念に済生の心を掲げており

まして、医療と福祉に恵まれない方々に手を差し延べていこうという考え方です。モンゴルの研修生を受け入れたことは済生会の事業に合致しています。これからもこうした意味で国際連携を高めていこうと思っておりますので、機会をいただければ積極的な対応をさせていただきます」と述べられた。そして自ら柔道整復師であることを披歴された。

旺盛な向学心に感心

ボロルトゥーヤ准医師を受け入れた「工藤整骨院」の工藤重孝先生は、研修生の共通点として勉強熱心であることを称えた。日曜日に函館の観光を勧めたが「私たちは勉強がしたい」ということで、3人を呼んで包帯法、整復法などを学んでいただき、旺盛な向学心に感心させられた旨を述べられた。

人間味溢れた人柄

トゥブシンバヤル准医師を受け入れた「いながき整骨院」の稲垣智信先生は、研修生の方々の柔道整復術を学ぶ能力の高さと、普及活動に取り組まれてきた関係者の並々ならぬ努力に対して敬意を表された。

研修時間の合間に、トゥブシンバヤルさんは 茶道・書道の体験で日本の文化に触れた。好き な言葉は「一期一会」で、本プロジェクトに関 わった多くの方々にお礼の気持ちを込めて「一 期一会」を書いて贈りたいと話していたとのこ と。そして休み時間には事務室で書道のアトリ エのように作品に励んでおり、温かい心を持っ た人物である、と改めてその人柄を紹介した。

《研修生から謝辞》

故 亀山先生に感謝



研修生それぞれが、母国モンゴル全土に柔道整復術を広めて保健・福祉に役立て、お世話になった全ての人に恩返しをしたい旨の謝辞を述べた。今回が最後の研修となり、モンゴルで医師を目指すトゥブシンバヤル准医師は、5年間の研修活動を振り返り満腔の謝意を表した。そしてプロジェクト立ち上げに尽力され、故人となられた日整国際部の亀山実先生の功績を偲び「先生のご遺志を受け継ぎ、必ず柔道整復術を広め、ご恩に報います…」と声を詰まらせた。

静寂に包まれた雰囲気の中、工藤会長は「報恩感謝の温かい心に、日整を代表して敬意を表します」と述べ、准医師3名に記念品を贈呈した。研修生を称えた閉講式は、萩原副会長の閉会の辞により終了した。国際部の活動報告は別掲。

【閉講式並びに懇親会来賓出席者名(順不同)】

衆議院議員 逢沢 一郎様

駐日モンゴル国大使館特命全権大使代理

参事:L.エルデネダワー様

駐日モンゴル国大使館一等書記官

スフバータル・ボロルチメグ様

外務省国際協力局開発協力総括課上席専門官

藁谷 栄様

JICA東京国際センターNGO連携課専任参事

橋口 道代様

JICA東京国際センターNGO連携課市民参加協力調整員

広瀬かおり様

産経新聞東京本社ウェーブ産経推進本部事務局長

楠﨑 正人様

都議会議員

川松真一朗様

公益財団法人国際医療技術財団代表理事 小西惠一郎様 公益財団法人国際医療技術財団事務局 依知川弘太郎様 研修先

北海道済生会小樽病院 院長補佐事務部長

櫛引 久丸様

工藤整骨院 工藤 重孝様

いながき整骨院 稲垣 智信様

国際部の活動(要旨)

「モンゴル国内での柔道整復術の指導・普及が モンゴル人のみにより可能となる | に向かって

萩原隆国際部長

「指導者候補生帰国後の活動」

現在日本で研修中の指導者候補生はモンゴル帰国後、県立病院や村の病院に勤務、あるいは看護大学などで講義を行っています。

「指導者候補生が勤務する病院 (バガノール県)」

指導者候補生ダリアが勤務するバガノール区の病院を訪問しました。日本研修に快く送り出していただいている院長先生へのご挨拶と、この病院の医師へモンゴル語版テキストの配布と柔道整復術についての説明が目的でした。ダリアは、時には大医師が徒手整復を行う際の助手をすることもありますが、この病院では主にケガの後療法を行う役割です。今後は整復だけでなく、固定管理や後療法まで一貫した柔道整復理論を身に付けてもらいたいと思っています。

「地方医療の問題点」

現在、モンゴル国全体の基礎保健指標は改 善しているものの地域格差が大きく、地方にお ける医療サービス向上が課題となっています。 政府では地方への医療人材配置を推進してい ますが、医師の卒後研修制度が整っていない 状況にあるようです。大医師を含めた医療スタ ッフの徒手整復技術、固定技術が熟達してお らず、長期固定、長期臥床による関節拘縮、 変形治癒が多くなり、その結果、手術依存の 傾向となっているようです。医療設備、用具 が不十分なため感染症などの併発が多いとい う現状もあるようです。日本でもそうですが、 ケガ≒手術という考え方だけでは、これらの問 題は解決せず、国内の医療費にも影響が生じ てきます。従って、地方の准医師だけでなく、 大医師に対しても徒手整復の可能性や適応を よく知ってもらい、お互いが協力して医療を提 供する体制づくりも重要かと考えます。

「MNUMS付属看護学校」

これは現職員であるトゥブシン、ボロルチ メグの2人から報告がありましたが、看護大 学では今年5月に理学療法科、看護科ととも に伝統治療科の臨床教育施設が完成したよう です。このことで、柔道整復術の臨床の活動 の拠点ができ、普及環境が整いつつある可能 性が示唆されます。これまで21の全ての県で 講習会を行ってきましたが、全ての准医師が 受講したわけではなく、技術の普及、定着に は、継続的な講習会の開催、次世代の指導者 育成には、研修生に帯同した臨床実習の充実 が不可欠です。そのためには、5名の指導者 候補が中心となり普及活動が継続的に行われ る体制づくりが必要です。今後、各地方の准 医師たちとの連絡調整は、准医師協会会長の トゥブシンが中心として働きかけ、定期的な 講習会の企画実施は、各県の保健所長と協力 体制を整えて行います。講習会で得られたも のを臨床にフィードバックし、その活動デー タを普及員によって各県保健所に報告し、デ - タ管理する上でその有効性が確認できれば、 保健省に上げるというシステム構築に繋がっ ていければと考えています。これができれば、 懸案であるモンゴル国医療制度への組み込み、 学科、学会の設立などの制度への継続的アプ ローチに対して大いに有効となります。

「今後の展望」

今後プロジェクト目標達成に向けて、指導者候補生を中心に展開していくためには、研修施設などの活動拠点、また、地方勤務地での臨床実習の充実、ウランバートルでの付属臨床施設において専門家を帯同した形での指導サポートなどの環境づくりが不可欠です。ただ、プロジェクト後もこれらの活動を継続するためには、新たな国のスキームを使った活動の検討が必要になってきます。

柔整サロン

災害時の被災者支援 柔道整復師はケガの処置と健康指導

秋富 慎司医師に聞く

聞き手 公益社団法人岩手県柔道整復師会会長 及川 磨

3.11東日本大震災で岩手県災害対策本部医療班の指揮を執った岩手医科大学附属病院の秋冨慎司医師に災害発生直後から現在までの活動について、また今後の災害対応の課題を聞いた。

及川会長 3.11東日本大震災発生時から現在 までの災害対策医療班での活動から思うこと をお聞かせいただきたいです。

秋富医師 3.11大震災発生直後に、県庁災害対策本部に入って、それから3ヶ月間1日も休まず活動したのですが、本当に全国の皆さんからのご支援のおかげで頑張れました。しかし、被災から時間が経過するにつれ、すぐに国の方ではもう必要ないだろうといって、どんどん支援を切ろうとしていました。実際には被災地ではまだまだ支援が必要な状況が続いていたのにもかかわらずです。当時は全国に応援したいと言ってくださる人がたくさんいましたが、混乱しているという理由で柔軟に対応することができなかったことが問題点でした。

当時を振り返ると、被災地では被災者は市町村が何もしないと怒っていて、市町村は県が何もしないと怒っていて、県は国が何もしないと怒っていました。しかし、私自身は全ての関係者とやり取りして分かったことは、みんな頑張っていたということです。しかし、それぞれの気持ちが市町村、県、国、相互に繋がらなかったのです。想定外の災害だから仕方がないといいますが、災害現場がどうなっているのだろうという気持ちを持つことや、相手を思いやる気持ちで被災地を見ることができたら、そのような争いは起こらなかった

のではないかと思っています。つまり、情報 だけでなく気持ちの共有化も非常に重要だっ たと思います。

ほかにも困った問題点はありました。震災 のときには県庁も含めて被災地になります。 岩手県内陸部も被災地ですが、直接被害が大 きい沿岸部への支援者であり続ける。これは 本当に大変なことでした。県庁職員の多くの 方の家族は沿岸部に住んでいました。支援活 動をしている行政職員自身が、家族がどうな っているのか分からない。けれども災害対策、 被災地支援をやり続けないといけない。その ような殺伐とした中で、岩手県柔道整復師会 の皆様が県庁に入ってくださって、災害対策 本部とコラボできたというのは非常に大きな 後方支援の発展型だったと思います。災害対 策本部の中でハイリスクを負いながら精神的 にも追い詰められていた人も、柔道整復師会 の皆さんが活動している所に行って、施術を していただき、肉体的にも気分的にもリフレ ッシュされて精神的な平穏を保っていた人が いました。そういった意味でも、被災地の避 難所に行って被災された方を支援するという のも重要ですし、被災地を支援する人たちへ の支援というのも重要だと思いました。

及川会長 私たちは岩手県柔道整復師赤十字 奉仕団を組織しており、大震災発生直後に即 支援活動をしようと日本赤十字社岩手支部に 連絡をしましたら、逆に岩手支部から止められました。柔道整復師会の皆さんが今現場に行っても何もできません。と、それならば何か私たちにできることはないか模索していた際に、先生がお話しされた県庁で災害対策を指揮しているスタッフに対する施術を行うという後方支援でした。今になって思えばあの活動ができて非常に良かったと思います。この経験から災害発生時における前線での支援活動と後方支援活動の大事さを学ぶことができました。先生は災害発生直後の支援やボランティア活動をする方に何か提言などありますか。

秋冨医師 多くの方は、災害発生直後に被災 地に行って何かしらの支援をしたいと思うの でしょうが、被災者の立場で言えば自分たち が家族や家もあらゆる状況が分からないのに、 支援者がどんどんやってきて、何でも支援す ると言われても、自分自身が何をどうすれば いいのか分からない状況であり、何をしてほ しいかも分からないと思います。実際に被災 地では、自分が何をするのか、何をしていい のか、何からやればいいのか分からなかった という声が多く聞かれましたし、それが一番 悔しかったと言っています。また、被災地の 行政では、支援に来た人や団体は、何をした らいいですか、何でもしますと言ってきます。 ですが、実はそのように言われるのが一番辛 かったそうです。それぞれが冷静になって具 体的に状況を把握できるようにしてから、そ のような状況に対して支援に入るようにして いくこともいいと思います。そういった意味 で行政や赤十字と連携することは、現場のニ ーズを適切に把握できるため、非常に重要な ポイントだと思います。

ボランティア活動についてですが、私は被 災直後早々にボランティアが岩手に勝手に入 って来るのを止めるようお願いしました。そ れは被災地の人たちがご飯も寝る場所もない のに、ボランティアの方が被災地に来ても被 災者自身が困る状況があるからです。いろい ろ活動されるのは良いことですが、自分たち のご飯も準備せずに来るような、いわゆるロ ジスティックスもないような状況で被災地に 行きたいといってもそれは迷惑になるわけで す。実際に一週間目に救急車に入れるガソリ ンすらなくなっている状況でした。ボランティアに行く方はその辺りをしっかり見極めて 被災地に入り、迷惑が掛からないタイミング で活動をしていただきたいと思います。その 際は自由勝手に活動するのではなく、県庁や 被災した行政などの災害対策本部や赤十字な どの組織と連携をして活動するべきです。

また、被災は何年も続くものですから、被 災して大変だ、可哀想だと思っている最初の ときだけ支援するのではなく、長期にわたり 支援することも、被災地にとっては大変あり がたいことなのです。今回の大震災で急性期 の災害時の医療を提供するために発足した災 害医療派遣チーム (DMAT) は、活動する場 が非常に少なかったと評価されています。な ぜならば、災害発生時の重傷者をどう助ける かというようなシステムをつくっていたので すが、実際の津波現場には思っていた以上に 重傷者は少なかったためです。大切だったこ とは、その後に生き残った人をどう支援する かでした。そういった意味では、避難所で冷 たい板の上にずっと寝かされて、頸も腰も身 体が調子悪くなる、エコノミークラスシンド ロームになる、そういったところに焦点を当 てるということも一つの支援の形だと思いま す。被災は何年も続きます。細く長く支援す る体勢も、望まれていることだと思います。 及川会長 先生は「ナインデイズ」(注、 2012年2月に発行、幻冬舎、河原れん著、東 日本大震災における岩手県災害対策本部の戦 いを描いた)のモデルになりましたが、その 一節で「助けたかった人がいた。助けられな かった人がいた。いや、助けに行くことさえ できなかった…」まさしくその県のところは、 災害対策本部医療班で指揮を執っていて思う ところだったのだと思いますが、被災地での 医療班の組織活動で一番重要視したことは何 でしょうか?

秋冨医師 今回一番重要視したのは、沿岸部 で一生懸命頑張っている人に代わって偉い人



【プロフィール】 秋 富 慎 司 あきとみ しんじ

防衛医科大学校 講師 (救急部 兼 防衛医学研究 センター外傷研究部門) 山口県出身。兵庫医大卒業 後、2003年千里救命救急センター。2006年済生会滋 賀県救命救急センター医長。2008年岩手医科大学岩 手県高度救命救急センター・助教。2015年4月から 現職。2005年のJR福知山線脱線事故での医療活動 に当たり、2011年3月11日の東日本大震災では岩手 県災害対策本部の医療班の陣頭指揮を執るなど、災 害医療のプロフェッショナルとして数々の災害対応 の現場を経験してきた。

を派遣するのではなく、一生懸命頑張っている人たちを支援するシステムをつくることです。今までで失敗した例は、一生懸命頑張っていた指揮官や責任者がいるにもかかわらず、そこに外部の県や国から派遣されて来た人がそれまで一生懸命に頑張ってきた指揮官、責任者の意見を聞かず、後から来た専門家でもない人が現場からの意見を却下して、必要なことが行われなくなることでした。小さい災害でもそのようなことが起きているのです。

このようなことから、私が震災時に行ったシステムというのは、現場の責任者の意見に従うこと、心のケアに関して理解していること、毎日の活動を現地の責任者の下に集まり報告をすること、最後に同じ組織に2ヶ月間以上所属して活動することなどの条件を付けました。こうすることで責任者が医療支援の管理がしやすくなり、各避難所で今何が必要なのかを把握できて、全てのスタッフの力を効率的に運用することができます。

及川会長 昨年は広島県の土石流災害、長野 県御嶽山の噴火と白馬地域の震災、熊本県阿 蘇山の噴火と一年間で幾度もの自然災害が発生しました。近い将来には南海トラフ巨大地震が発生するといわれています。大規模災害に備えて国民が考えておくべきこと、するべきことなどをお聞きしたいのですが。

秋富医師 今、国に提言していることの一つとして、備蓄法の制定があります。おそらく南海トラフ巨大地震、首都直下大地震の場合であるならば、物資の供給が避難所に及ぶのですら1週間以上かかると考えています。そうすると1週間もの間、支援物資が来なくても生き延びられるような備蓄をしないと、確実に餓死するような人が現れてもおかしくないです。国民の皆さんに助言するとすれば、最初に自分たちと自分たちの家族を守る準備をしておく必要があるということです。

自助、共助、公助とは7対2対1と後藤新平先生がおっしゃっていましたが、やはり自助、共助、つまり自分たちで何とかする、そして共に助け合うのが9割なのです。残りの1割の公助は、患者さんや介護が必要な人、孤児、遺児、妊婦さんなどの弱い立場の方々への支援に使用すべきなのです。首都直下巨大地震でも搬送しなければならない患者さんが62万人だそうです。そのような状況で、一般の元気な方に支援する余裕は全くないのです。ですから、まずは自分たちと自分たちの家族を守る準備をしておく、備蓄をしておくということと地域社会の人たちがしっかりコミュニティーをつくっておくということが非常に重要だと思います。

及川会長 実際災害が発生してしまったというとき、一つの地域のコミュニティーがまとまって対応していくのが大切なのでしょうか。 秋富医師 そうです。まず、南海トラフ巨大地震が発生してしまった場合、東日本大震災での被災地域市町村規模の自治体が数百ありますし、大都市である名古屋、大阪、静岡、神奈川に支援が集中しますから、ほかの地区の小さい都市には支援が行くのが難しいと思ってほしいです。今回の大震災で自衛隊の約半数を使ってもなかなか救助も支援も困難を極めました。国防のこととか、隊員の交替な どを考えれば、全ての自衛隊を使えないことも分かっています。圧倒的に支援する側の人員が不足するのです。この経験から考えれば、今後は、自分たちで何とかする。そして周りと共に協力し合う。個々の自助共助を強化する。そこが生き残る術だと思います。

及川会長 やはり、常日ごろから万一のとき に備え常日ごろからそういう体制を取ること が重要ですね。

秋冨医師 おっしゃるとおりです。禍福は糾 える縄の如し(かふくはあざなえるなわのご とし)と言いますよね。今が幸せでも絶対不 幸は来ます。余談になりますが、高度成長期 の36年間、1995年阪神淡路大震災まで36年間 に1,000人単位で犠牲者が出る災害がありま せんでした。それで過信してしまったのです。 我われは大災害に備えられると。その結果、 阪神淡路大震災で6,500人の方が犠牲になら れて、今回東日本大震災では、およそ2万人 の方が犠牲となってしまいました。災害の犠 牲になってしまうことに逆らえない。逆らお うとしても逆らえない。だったらどうするか といったら生き延びること、自分たちが生き 延びることを考えなければならない。それが 本当に国民に対して今一番お伝えしたいこと です。

及川会長 最後になりますが、私たち(公社) 日本柔道整復師会でも平成25年から DJAT (Disaster Judo Therapist Assistance Team 災 害派遣柔道整復師チーム)を創設し、仮想災 害における模擬実践訓練等をしているところ です。私たち柔道整復師の災害等への関わり 方についてご意見、ご助言をお聞かせください。

秋富医師 JR福知山線の脱線事故でよく分かったのが、超急性期の我われにできることは点滴と酸素投与しかありませんでした。医者が何でもできると思ったら大間違いだなと思いました。しかしまだ過信している人は医者の中にもたくさんいます。逆に柔道整復師の方ができることというものは、医者との違いを理解して、むしろ被災地に寄り添うような支援をすることです。それができれば被災

地はもっと活性化するのではないか喜ぶのではないかと思います。何かしてやろうというよりは、寄り添うような形で支援を、枠組みをつくることが重要かなと思います。

及川会長 長期的に支援をすることが望まれるということですね。

秋富医師 そうですね。せめて3ヶ月位のス パンで考えてほしいです。私は細くても長く 寄り添うことが本当の支援に繋がるというこ とが今回分かりました。先生方も忙しいと思 いますので、同じ方が長期にわたり支援を行 うというのは難しいと思います。しかし、交 代で細く長く支援することで被災者とも行政 とも信頼が築けます。次の災害のときには、 柔道整復師さんはケガに対する処置ができる、 被災者の健康指導もできるということを、最 初に災害対策本部そして被災地と連絡を取っ て共有化して、それぞれの役割分担を明確に すれば絶対に協力はできると思いますし、被 災地より望まれた支援ができると思います。 柔道整復師の先生方への感謝とともにますま すのご活躍を期待しつつ、注目していきたい と思います。今回はありがとうございました。 及川会長 きょうは、災害が発生した場合の 被災者への初期対応とその後の支援活動の在 り方など、我われ柔道整復師の胸に響く示唆 が豊富で貴重なお話を伺うことができました。 私たちも DJAT を中心として災害活動に備え たいと思います。今後も私たち柔道整復師に 対してご助言、ご提言をいただければ幸いで す。本日は大変お忙しい中、お時間を割いて いただき誠にありがとうございました。先生 の益々のご活躍をご祈念申し上げます。



第8回日整柔道「形」講習会を開催

総務部



公益社団法人日本柔道整復師会主催による第8回日整柔道「形」講習会が、平成27年8月1日(土)・2日(日)の2日間にわたり講道館にて開催され、全国都道府県柔道整復師会から推薦された14組28名が参加した。

本講習会では、講道館指導部の鮫島元成八段 と山本三四郎七段に「投の形」を、佐藤正八段 と向井幹博七段に「古式の形」をご指導いただ いた。

初日は、午後1時から豊嶋良一総務部長の開 会の辞で始まり、工藤鉄男会長は「講師をして いただける講道館の先生方にお礼と感謝を申し 上げます。また、酷暑の中、受講される皆様に



▲投の形の指導

はしっかりと学習し、指導者として地元でご活躍いただき、柔道整復術の発展に繋がるよう、 努めていただければと思います」と挨拶された。 その後「投の形」「古式の形」 2 班に分かれ、 午後 3 時まで講習が行われた。

2日目は、午前10時から、昼食をはさみ午後 2時まで講習が行われ、参加者は大粒の汗を流 しながらも精力的に受講された。

閉会式において、鮫島先生は「柔道形はとて も奥深く、柔道の資質向上に役立つものです。 皆様にはとても熱心に受講していただきました。 日本柔道整復師会に柔道形を普及していただけ ることは、非常に意味のあることです|とお話

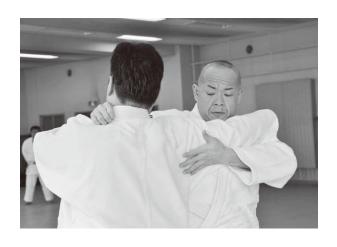


▲古式の形の指導



しされ、佐藤先生は「皆様は大変一生懸命に細かい所まで習得されました。これからも各地域 で継続的に練習を重ね、多くの人に指導をお願いします」と講評された。

続いて、鮫島先生、佐藤先生、工藤会長より 受講者代表の「投の形」妹尾徹会員(千葉県) と「古式の形」佐藤公男会員(埼玉県)へ修了



証・認定証が授与された。

最後に、豊嶋総務部長が閉会の辞を述べ、第 8回日整柔道「形」講習会は大きな成果を上げ 滞りなく終了した。

なお、10月12日(月・祝)に開催される日整 全国柔道大会における「形」演武者として、下 記3組6名が選考された。

「投の形し

(取) 妹尾 徹 六段【千葉県】

(受) 藤崎 満 六段【千葉県】

「古式の形」

(取) 藤川 進 七段【群馬県】

(受) 細貝 昭吾 六段【群馬県】

(取) 見原 道生 七段【宮崎県】

(受) 甲斐 浩二 六段【宮崎県】



▲日整大会形演武者

チンギスハーンの国

国際部

地方医療事情の一面

地方講習中、講義に参加しているバク医師や、病院の大医師、看護師などから直接患者を診てくれと要請されることは珍しくない。 前回の派遣で特に印象的だった2名の患者さんがいた。

一人は大腿骨頚部骨折の患者さん。動けないためゲルに往診した。診たところ頚部の完全骨折であり、年の割(50歳半ば)には全身症状もあまり良くない。保存的に治療できる可能性もゼロではないため、とにかく病院から往診してもらいレントゲンを撮ってもらうよう依頼した。その間、私たちは固定材料の確保に走った。モンゴルの地方でも最近は石膏ギプスが手に入るようになった。しかしそれが入手できるのは病院ではなくドラックストアだ。ドラックストアといっても日本のそれとは違い小さい雑貨屋さんだ。治療にギプスが必要になると医師はその家族にドラックストアに行き買ってくるように言う。そしてその家族の買ってきたギプスを使い固定する。

半信半疑だったが、店に行ってみると本当にギプスが置いてあった。なぜかノートなどの文具の隣に並んでいた。種類は少ないが何とか使えそうなものだった。袋にはロシア語らしいキリル文字が書いてあった。

患者さんのゲルに戻るとレントゲン写真が 置いてあった。完全な内側型の頚部骨折で転 位もある。年の割には骨の状態もあまりよく ない。残念だが、手術を勧めた。病院の先生 にもウランバートルに行って手術をするよう 言われたと家族が話した。しかし、ウランバートルで手術してもらうお金がないから、何 とかここで治してくれと、我われに真剣な顔 で訴える。買ってきたギプスを巻いてくれと言う。先生たちに絶対迷惑は掛けないからお願いします、と涙ながらに言う。私たちもいろいろ迷ったが、専門家として言えることは「何としてもお金を集めウランバートルで手術してもらってください」だけだった。それを伝えたとき、一瞬家族の表情に「怒り」を伝えたとき、一瞬家族の表情に「怒り」をが、その後すぐ、悔しさをにじませながらも「分かりました。後は家族で考えます」とやるせない胸の内を殺すように静かに言った。帰り際、日本では経験することのない現実を目の当たりにし無力感が私の全身を襲った。



もう一人は下腿骨骨幹部骨折の少年だった。 受講生の一人がレントゲン写真を持ってきて、 明日手術予定なのだが、先生はどう思うか、 と聞いてきた。両骨骨幹部の螺旋骨折で第三 骨片もあるがうまく整復できれば保存的に十 分治療できると伝えた。受講生は早速病院の 先生にそのことを話し、許可を取ってくるか らぜひお願いしますと言って、出ていった。

私たちは金属シーネと局所固定のための厚 紙を用意した。しかし、いつになってもその 受講生は戻ってこない。結局、最後まで担当



医師の許可が下りなかったとその後聞いた。 やはりモンゴルの外科医には徒手整復や金属 シーネでの固定は理解してもらえないのかと がっかりした。

翌日その病院見学があった。少年も入院していた。そして、許可を出してくれなかった 医師と話す機会があった。私からその少年の骨折について「保存的に十分治療できるし、 患者さんもそれを望んでいるようだ」と叱られることを覚悟で切り出した。それに対する 医師の答えは予想外のものだった。「私も十分保存的に治療できると思います。できるものなら手術しないで皆さんに整復・固定してもらいたいと思っています。しかし、モンゴルで問題なのはその後のケアをする人がいないことです」と言った。手術で内固定をすれ



ばその後はそれほど手が掛からない。しかし、 保存療法の場合は、包帯の巻き替えをはじめ 再転位の確認等に高い技術と知識を持った治療者が必要になる。もちろん安静にできる環境も必要だ。その医師は、保存療法を否定するのではなく、このようなモンゴルの現状では手術するしかないのだということを私に伝えたかったようだ。

プロジェクトでは初期治療の重要性を中心に訴えてきた。しかし、現実には、初期治療の数十倍も時間を要する、その後のケアが同時に修得できてはじめて、保存的治療の普及が現実のものとなっていくのだ。まだまだ柔道整復術の定着のためにしなければならないことはたくさんあることをこのとき再認識した。

理事会だより

<平成27年度 第2回理事会>

開催場所 日本柔整会館2階理事会室

開催日時 平成27年6月8日(月)午後1時

~午後3時15分

理事現在数 現在数18名 定足数10名

出席者 理事18名中17名出席

工藤、木山、萩原(正)、豊嶋、 佐藤、三橋、松岡、永田、萩原 (隆)、阿部、市川、山﨑、伊藤 (宣)、高崎、原、伊藤(述)、

富永

理事外の出席者 内山監事、岡本監事

司 会 豊嶋総務部長

開会の辞 木山副会長

議 長 工藤会長

閉会の辞 萩原副会長

〈会議の概要〉

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、議事録署名人は定款第39条に基づき工藤鉄男会長と内山富之・岡本和久両監事であることを確認した。

〈議 題〉

第1号議案『通常総会開催通知について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年6月28日開催予定の通常総会について、開催通知は、規程どおり平成27年6月12日までに発出することとし、記載内容の「日時」、「場所」、「議題」、「お知らせとお願い」を確認し、併せて質問があった場合の対応、「代理人選任届」、「議決権行使書」など、提案どおり承認可決した。

第2号議案『平成26年度事業報告について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、原案を承認可決し、総会へ報告することとした。

総務部

第3号議案『平成26年度決算報告について』

経理部長より平成26年度の貸借対照表および 損益計算書ならびに財産目録等の決算書類と予 備費の使用について説明があり、審議の結果、 原案を承認可決し、総会へ上程することを承認 可決した。

第 4 号議案『平成26年度監査報告について』

監事より平成26年度監査報告があり、適正で あった旨、総会へ報告することを承認可決した。

第5号議案『平成27年度会費免除者について』

総務部長より議案ついて説明があった。審議の結果、終身免除(56名)、所得等に関する免除(44名)について、原案を承認可決し、総会へ上程することとした。

第6号議案『役員の選任について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、任期満了に伴う「役員の選任」について、立候補届受付締切の6月4日正午までに届出のあった立候補者について確認し、総会へ上程することを承認可決した。

第7号議案『会長及び副会長の選定について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果「会長及び副会長の選定」について、総会へ上程することを承認可決した。

第8号議案『通常総会 議長、副議長につ いて』

総務部長より議案について説明があった。通常総会の議長・副議長候補について検討し、議長を及川磨会員(岩手県)、副議長を平良光政会員(沖縄県)とする提案を、総会へ上程することを承認可決した。

第9号議案『通常総会 議事録署名人につ いて』

総務部長より議案について説明があった。通常総会の議事録署名人について、候補者の選定を総務部に一任し、総会へ上程することを承認可決した。

第10号議案『事業報告等に係る内閣府への 提出書類について』

総務部長より議案について説明があった。審 議の結果、6月28日の通常総会において、平成 26年度事業報告および決算報告が議決された後、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第22条第1項の規程に基づき内閣府に「事業報告等に係る提出書」を提出すること、また、内閣府の指導により、報告書に変更の必要性が生じた場合で、基本的部分についての変更を伴わないときは、その対応を担当部署に一任することを、承認可決した。

第11号議案『日整全国少年柔道大会・日整 全国少年柔道形競技会・日整全国柔道大会 について』

総務部長より議案について説明があった。タイムスケジュール修正案、来賓挨拶について、 後援・協賛依頼先、選手控室の割振りなどの提 案があり、審議の結果、原案どおり承認可決し た。

第12号議案『業界説明会について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、業界説明会の案内を全国の柔道整復師養成施設へ例年どおり、7月上旬に発出することを承認可決した。

第13号議案『日整ホームページへの会員名 簿掲載について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、日整ホームページへの会員名簿掲載について、個人情報保護の観点から、より慎重な審議が必要であり、継続審議にすることとした。

第14号議案『日整元会長「原健先生お別れ 会(仮称)」について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、日整元会長である原健先生のお別れの会について、日整・京都合同で京都において開催することを承認可決した。日程など詳細は、後日、担当部署と京都で相談の上、決定することとした。

第15号議案『日整学術大会 会員発表につ いて』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、平成28年度から、日整主催学術大会における会員発表時間(実技、ポスター発表は除く)を、全国統一的に「発表時間8分以内、質疑応答3分以内」として実施することを承認可決した。

第16号議案『公認私的研究会の登録・変更・ 廃止届について』

学術部長より議案について説明があった。審議の結果、石川県から新規登録申請8件、東京都・福岡県から変更申請各1件、新潟県・愛知県・大阪府から廃止届各1件について承認可決した。

第17号議案『i-Pad 貸与について』

総務部長より議案について説明があった。理事会ペーパーレス化に伴い日整から役員へ貸与している i-Pad の取り扱いについて、役員改選後の理事会において、「公益社団法人日本柔道整復師会備品貸与規程」の審議と伴に、整理することとする提案を承認可決した。

〈報告事項〉

- ① 日整会員年度末各種集計資料
- ② 平成27年春の褒章・叙勲受章者
- ③ 栃木県柔道整復師会理事の物販公告事案について
- ④ 柔整科に特異なカリキュラムまたは専攻の ある主な専門学校
- ⑤ 合同部会・懇親会について
- ⑥ 2019RWC、2020オリンピック・パラリンピックのアンケート結果
- ⑦ DIAT 活動報告
- ⑧ 選挙管理委員会 正副委員長について
- ⑨ 理事会議事録について
- ⑩ クールビズ実施のお知らせ
- ① 朝日新聞記事(けんこう処方箋)
- ① 新聞記事(2015.5.2北海道新聞)
- ③ 予算管理月報(4月分)
- (4) 経理部会報告書
- (5) 公的審査会アンケートについて
- 16 財務省主計局資料について
- ① H27.4.30医療課打合せ会概要
- ® ふくとらはりきゅう整骨院における柔道整 復師法違反広告について
- (9) 大学(柔道整復師養成施設)学位記について
- ② モンゴル講師派遣日程
- ② 平成27年度第1回日本研修開催について
- ② 柔道グランドスラム東京大会2015柔道国際 医科学シンポジウム発表者募集のお知らせ
- ② 平成27年度学術大会における国際部報告に

ついて

- ② ベトナム国際セミナーの企画案
- ② 各部からの報告 2015年夏季の節電に関する御協力のお願い について マイナンバーについて 中医協について

<平成27年度 第3回理事会>

開催場所 日本柔整会館2階役員室

開催日時 平成27年6月28日(日)午後4時

15分~午後 4 時30分

理事現在数
及び定足数現在数18名定足数10名出 席 者理事18名中18名出席

工藤、萩原(正)、松岡、豊嶋、 佐藤、三橋、安田、森川、萩原 (隆)、市川、和田、渡邊、伊藤 (宣)、大藤、石原、原、伊藤(述)、 富永

理事外の出席者 内山監事、寺本監事

議 長 工藤会長

〈会議の概要〉

最初に定足数を確認し、議事録署名人は定款 第39条に基づき工藤鉄男会長と内山富之・寺本 欽弥両監事であることを確認した。

〈議 題〉

第1号議案『各部担当などについて』

議長より各部長と理事の職務分担について説明があった。審議の結果、次のとおり承認可決した。

総務部・保険部・国際部担当副会長 萩原正和(北海道) 経理部・学術部・広報部担当副会長 松岡 保(福岡県)

総務部長 豊嶋良一(宮城県)、

総務部担当理事 市川善章 (茨城県)・

和田秀樹 (神奈川県)

経理部長 佐藤金一(青森県)、

経理部担当理事 渡邊 寬(埼玉県)

保険部長 三橋裕之 (東京都)、

保険部担当理事 伊藤宣人(三重県)· 大藤忠昭(群馬県)

学術部長 安田 剛 (大阪府)、

学術部担当理事 石原 誠(香川県)

広報部長 森川伸治 (愛知県)、

広報部担当理事 原 正和(和歌山県)・

伊藤述史 (東京都)

国際部長 萩原 隆 (兵庫県)、

国際部担当理事 富永敬二 (佐賀県)

また、木山時雨(石川県)元副会長を相談役とする提案があり、審議の結果、承認可決した。

第2号議案『役員報酬について』

議長より役員報酬について説明があり、各々の理事の報酬月額は従前どおりとする提案を承認可決した。なお、監事の報酬については監事の協議により定めるものとした。

第3号議案『i-Pad貸与について』

議長より標記について説明があった。審議の結果、今後も従前どおり、日整から役員へ貸与する i-Pad を使用して会議を実施することを承認可決した。

〈報告事項〉

- ① 各都道府県柔道整復師会 役員名簿
- ② 「日整広報はつらつ」掲載 役員就任挨拶 文について

お詫びと訂正

前号、日整広報はつらつ VOL.233号 23頁に誤りがございました。ここにお詫びして訂正いたします。

- 誤) 工藤鉄男会長率いる19名の理事
- 誤) 7月2日(日)には日本柔整会館において
- 正) 工藤鉄男会長率いる18名の理事 正) 7月2日(木)には日本柔整会館において

会務執行状況

(6月~7月)

日 整 関 係

平成27年6月

1,7,424							
日付	曜日	会 議 等	出 席 者				
1	月	選挙管理委員会	深井				
2	火	選挙管理委員会	深井				
		IE4 → Λ	工藤、内山、岡本、				
		監査会	豊嶋、佐藤				
3	水	選挙管理委員会	深井				
	木	理事・監事立候補受付締切	深井、清水				
4		開講式					
		(認定実技審査委員会:柔道整復研修試験財団)	萩原、木山、豊嶋				
8	月	部長連絡会議					
0		理事会					
9	火	広報部会					
11	木	(卒後臨床研修委員会:柔道整復研修試験財団)	工藤、萩原、三橋、				
11			松岡、原				
13~14	土~日	中国学術大会広島大会	工藤、萩原、松岡				
15	月	(定時評議員会:柔道整復研修試験財団)	萩原、三橋				
20~21	土~日	宮城県「柔道整復学」構築学会	萩原、豊嶋、三橋				
20~21		北信越学術大会富山大会	工藤、木山、松岡				
23	火	国際医療技術財団評議員会	工藤				
28		選挙管理委員会					
	日	通常総会					
		緊急理事会					

H27.06.28まで

※出席者の名前と役職を列 記します
工藤工藤日整会長
木山木山日整副会長
萩原萩原日整副会長
豊嶋豊嶋日整総務部長
佐藤佐藤日整経理部長
三橋三橋日整保険部長
松岡松岡日整学術部長
原原日整理事
内山内山日整監事
岡本岡本日整監事
深井深井選挙管理委員長
清水清水選挙管理副委員長

平成27年7月

日付	曜日	会 議 等	出 席 者
2	木	理事会	
		各部部会・合同部会	
3	金	業界説明会:北海道柔道整復専門学校	萩原、三橋
4	土	国際部中間報告会	
4~5	土~日	北海道学術大会	工藤、萩原、松岡、 安田、豊嶋
18~19	土~日	東北学術大会青森大会	工藤、萩原、松岡、 安田、豊嶋
20	月	第36回東北ブロック会柔道大会 第23回東北少年柔道大会 第4回東北少年柔道形競技会	工藤
22	水	業界説明会:大阪ハイテクノロジー専門学校 部長連絡会	川口、増井
23	木	日医挨拶	工藤、萩原、松岡、 豊嶋
		国際部会	
24	金	業界説明会: 呉竹鍼灸柔整専門学校	和田、苅谷
07	月	日整全国柔道大会抽選会	
27		理事会	
	火	経理部会	
28		2015年アスタナ世界柔道選手権大会 日本代表選手団壮行式	工藤、豊嶋
29	水	ワールドスカウトジャンボリー 日整ブース開設 (8/1まで)	萩原

H27.07から

川口……川口大阪副会長 増井……増井大阪副会長

※出席者の名前と役職を列

周年記念式典の開催日

都道府県	式典名称	開催日・会場
(公社)石川県柔道整復師会	社団法人設立40周年記念式典	11月29日(日) ホテル金沢
(公社)富山県柔道整復師会	社団法人設立55周年記念式典	12月20日(日) ホテルグランテラス富山

平成27年度 日整主催学術大会一覧

ブロック	担当都道府県	学会名称	講師・演題	開催予定日
東海	(公社)愛知県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第50回東海学術大会 愛知大会	「最近のがん医療とがん対策」 愛知県病院事業庁長 愛知県がんセンター名誉総長 二村雄次 先生	12月6日(日)
九州	(公社)沖縄県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第44回九州学術大会 沖縄大会	「持続的収縮筋由来と思われる症 状の解釈とその治療の考え方」 仙台徒手療法研究会会長 倉田繁雄 先生	平成28年 3月5日(土)
関東	(公社)栃木県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第38回関東学術大会 栃木大会		平成28年 3月13日(日)

日本柔道整復師会のアンチエイジング講座

日本柔道整復師会のアンチエイジング講座がHPでご覧になれます。

平成26年3月28日から、自分らしく人生を仕上げる終活情報サイト「産經デジタル終活WEB ソナエ」のアクティブライフのページに「日本柔道整復師会のアンチエイジング講座」の連載が始まりました。約3週間に一度更新されます。ぜひご覧ください。

日整ホームページ (http://www.shadan-nissei.or.jp/) にアクセスし、「広報関連」 \rightarrow 「アンチエイジング講座」をクリックすることで今まで掲載された記事が表示されご覧いただけます。

月状骨脱臼と 舟状骨骨折を伴った月状骨脱臼の治験

高崎 光雄 富山県

【はじめに】

手関節は、橈骨手根関節および手根間関節の 総称であり、手根骨は複雑な靭帯構造により支 持されている。

高所からの転落やスポーツ中の転倒などで手 を突き、手関節が背屈を強制されると外力は直 接手根骨に作用して、手根骨相互の位置関係が 破綻し、月状骨を中心に脱臼や骨折を発生する 場合がある。

月状骨脱臼および周囲脱臼には、靱帯断裂の みで発生する脱臼型と舟状骨や三角骨、橈骨茎 状突起の骨折を合併する脱臼骨折型の2つに分 けて考えられ、今回、月状骨脱臼と舟状骨骨折 を伴った月状骨脱臼を2症例経験し、良好な結 果を得たので若干の考察を加えて報告する。

【症例報告】

「症例1]34歳男、左月状骨脱臼

(原因) 高所より転落し手を突き受傷。

(所見) 左手関節の運動痛、運動制限および手 関節部の前後径の増大を認めた。

(X線像) 手関節前後像では、脱臼により三角 形を呈している。整復後の月状骨は四角形と なる (図1:整復前・後のX線像白矢印で示 す)。





整復前 前後像

整復後 前後像

図1:症例1X線像

また、側面像においては、転位により月状骨 が三日月の形を呈している(白枠矢印で示す)。 整復後は有頭骨と月状骨の配列が正常の位置

となる。

(整復法) 患肢回外位で術者は手部を把握し、 拇指を脱臼した月状骨に当て、手関節を背屈 位で持続牽引を2分~5分間行い、月状骨を 末梢かつ背側に圧迫しつつ、手関節を掌屈し て整復。

(固定法) 手関節を軽度掌屈位とし、前腕近位 からMP関節まで固定する。

1週間後、手関節を背屈位とし受傷から4週 間目に固定を除去。固定中であっても、指関 節、肘関節の自動運動は行わせた。

2ヶ月後、機能障害もなく治癒。

[症例2] 45歳男

月状骨脱臼・舟状骨骨折・橈骨および尺骨茎 状突起骨折

(原因) 高所より転落し手を突き受傷。

(X線像) 月状骨は掌側に脱臼し、舟状骨は中 央1/3部の骨折で転位を認め、橈骨および 尺骨茎状突起剥離骨折を伴う。(図2)





側面図で月状骨脱臼、前後像で橈 骨・尺骨茎状突起剥離骨折を認め

骨癒合後3ヶ月目 図2:症例2X線像

(整復法) 症例1同様、手関節背屈位で前腕回 外位にて牽引し、月状骨脱臼の整復を行い、 舟状骨骨折の整復は、母指を長軸方向に牽引 した後、舟状骨部を圧迫し、手関節を軽度橈 屈位として整復を行った。

(固定法) 手関節軽度掌屈、橈屈位で金属副子 にて前腕近位部からMP関節まで固定する。

舟状骨骨折への対応として、金属副子を用いて母指IP関節まで固定(図3)。

図3: 舟状骨骨折の固定装着図



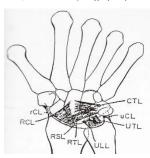
固定肢位は、患部状況からみて手関節伸展位、 軽度橈屈位とし1週間後に背屈位へ変更した。 (後療法)特に指部の運動を積極的に行わせ、 固定期間は8週間を要した。

5ヶ月目には日常生活における手関節における機能障害はなかったが、腕立て伏せが困難な状況であった。

【考察】

手関節部の脱臼は比較的まれな外傷であり、 そのため手関節部の捻挫と見逃されることがあ る。

手関節の靭帯は、掌側の靭帯の中で前腕骨と近位手根骨は5個の靭帯で連結されているが、前腕骨と遠位手根骨を連結する靭帯は、橈骨・有頭骨靭帯の1個のみであり、手関節橈側の橈骨・有頭骨靭帯と橈側側副靭帯が最も脆弱といわれている。(図4)

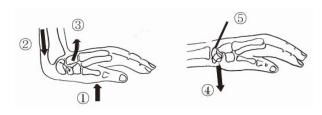


rCL - 燒側側副靭帯 RCL - 橈骨有頭骨靭帯 RSL - 橈骨舟状骨- 月状骨靭帯 RTL - 橈骨- 三角骨靭帯 ULL - 尺骨- 月状骨靭帯 UTL - 尺骨- 三角骨靭帯 CTL - 有頭骨- 三角骨靭帯 uCL - 尺側側副靭帯

Mayfield JK; Mechanism of carpal injuries. Clinical Orthopaedics 149. P45-54, 1980より改変

図4:手関節手掌の靭帯

月状骨脱臼の発生は、Mayfieldによれば手関節の背屈、尺屈、回内が加わったとき、はじめに舟状骨-月状骨靭帯が断裂。そして、月状骨-有頭骨靭帯および月状骨-三角靭帯と断裂して月状骨の脱臼を生じるとしている。そして、脱臼とともに橈骨茎状突起、舟状骨、有頭骨、三角骨などの骨折を合併する場合もある。(図5)



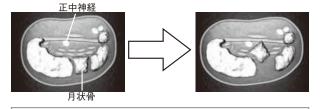
- ①手指および中手骨頭が上方に突き上げられる
- ②橈骨長軸の軸圧力 ③有頭骨が月状骨の背側へ回転
- ④月状骨が手関節の掌側へ ⑤月状骨は回転して手関節掌側へ脱臼

Connolly, J.F.: Fractures and dislocations-closed management. Vol.2. W. B. Saunders: p.1428, 1995より引用改変

図5:発生機序

(症状) 受傷初期では手関節部の腫脹、圧痛が 著明である。掌側へ脱臼した月状骨により、 手根管内の屈筋腱や正中神経が圧迫され、正 中神経損傷の合併および指は軽度屈曲位を取 る。

- ① 手関節部の腫脹・疼痛著明
- ② 手根部前後径の増大
- ③ 手関節掌側に骨の突出を触知
- ④ 手関節背側月状骨部の陥凹
- ⑤ 手部は軽度尺側へ傾斜
- ⑥ 指は軽度屈曲位をとる (図6)



月状骨の手根管内への脱出により、指屈筋腱が圧迫され指は屈曲位 をとり、正中神経損傷発生もある。

図6:月状骨脱臼による手根管内への影響

手関節周囲の骨折を伴っていることが多いため、手関節正面と側面のX線像の明確なる診断が必要である。

(X線画像所見) 前後像:近位列手根骨と遠位 列手根骨が重なっている。本来四角形に見え る月状骨が、三角形を呈しているが案外見逃 されることが多い。

側面像:長軸方向に位置する月状骨と有頭骨が転位し、月状骨が三日月に見える。しばしば舟状骨骨折と合併するので見落としてはいけない。

- (整復) ① 患肢を回外位とし、助手は前腕部 を把握する。(図7A)
 - ② 術者は手部を把握し、拇指を月状 骨部に当て、手関節を背屈位に牽 引する。(図7B)

- ③ 持続牽引を2分~5分間行い、月 状骨が正常位置に整復される間隙 をつくることが重要である。
- ④ 月状骨を末梢かつ背側に圧迫して 手関節を掌屈する。(図7C)



Α



В



С

図7:整復過程(A→B→C)

2症例とも整復は、比較的容易であった。

整復操作では、手関節を背屈位で持続的に牽引し、有頭骨と橈骨の間に月状骨を容れる間隙ができれば、月状骨は屈筋腱の圧迫で自然整復される場合もある。

牽引によりできた間隙へ転位した月状骨を圧 迫すると同時に、手関節軽度背屈位から掌屈位 とする。その際に手関節がスムーズに掌屈でき れば整復されている。その後、手関節を伸展位 に戻したときに指関節が屈曲せず伸展位を保持 できていれば整復は成功したと考えられる。

(固定) 当初軽度掌屈位で固定を行い、1週間 で固定を軽度背屈位とし4週間で固定を除去 する。 症例2の場合(図3)、舟状骨骨折を合併しているため、固定は前腕の近位部からMP関節の手前まで、母指はIP関節までとした。固定肢位は、当初手関節伸展位・軽度橈屈位とし、1週間後に固定肢位を背屈位へと変更して8週間の固定を行った。

【まとめ】

- ①月状骨脱臼の整復には、手関節背屈位による 持続牽引 (2分から5分間) により、月状骨 が整復されるための間隙をつくる必要がある。
- ②間隙が確保されれば、屈筋腱の緊張および術 者の月状骨への直圧により容易に整復される。
- ③ 舟状骨を合併する場合の長期固定期間に至る 旨の説明が必要である。
- ④舟状骨骨折と月状骨脱臼の固定肢位が全く逆であり、固定肢位については舟状骨を重きにおいた肢位を取らざるを得ない。

発生機序図(5)、手根管断面図(6)、整復図(7)については下記ビデオをより引用し掲載した。

引用

柔道整復師学術研修ビデオシリーズ 高崎光雄 監修(公社)日本柔道整復師会

参考文献:

河井秀夫:月状骨および月状骨周囲脱臼。 骨折・外傷シリーズ8手指の骨折と合併損傷。 榊田喜三郎、山本真(監修)三浦隆行(編集)。 南江堂:p. 27-35、1987

Connolly, J. F.: Fractures and dislocationsclosed management. Vol. 2. W. B. Saunders: 1428,1995

Mayfield JK.: Mechanism of Carpal injuries. Clin. Orthop. 149: 45–54. 1980

本の紹介

『腸内細菌と共に生きる』 ~免疫力を高める腸の中の居候~

学術部 岩本 芳照

著者の藤田紘一郎先生は、日整生涯学習講習会における特別講演に、講師として2度お招きしましたが、我われの常識を超えた素晴らしいお話しの内容でした。

「カイチュウ博士」として有名な先生の著書には、「笑うカイチュウ」「清潔はビョーキだ」「腸内革命」「バカな研究を嗤うな」「脳はバカ、腸はかしこい」など多数ありますが、このたび、その集大成ともいえる本を出されましたのでご紹介したいと思います。

この本のメインテーマは「共生」です。

人の体の中に棲んでいる腸内細菌や寄生虫などが、どれほど我われの健康に関わってきたのか、そして重要であるのかを述べられており、以下が構成内容となっています。

(本書の構成)

第1章 すべては「共生」で成り立っている

第2章 共生思想が生んだ「カイチュウ」との 出会い

第3章 共生細菌から見た「腸」と「脳」の 不思議なつながり

第4章 共生を支える「エピジェネティクス」 とは

戦後、日本人が進めてきた「清潔志向」と、それによる日本人の「無菌化」がデング熱、エボラ出血熱、大腸菌〇-157などの感染症や、アトピー性皮膚炎、気管支喘息などのアレルギー性疾患、そしてうつ病などの病気とも密接な関係を持っていたようです。

また、「腸内細菌が多いと賢くなる」など 腸と脳の関係も述べられており、ぜひお読み いただきたい本です。



著 者:藤田 紘一郎

東京医科歯科大学名誉教授 感染免疫学、寄生虫学、熱帯医学

出版社:技術評論社 定 価:本体1,580円十税 ISBN:978-4-7741-7117-3

学術部から

機関誌「日整広報はつらつ」掲載向け「学術シリーズ」の原稿募集について

日整学術部では、柔道整復師の優れた技術を幅広く国民にも分かりやすく紹介する目的で、 機関誌"日整広報 はつらつ"とホームページに「学術シリーズ」を掲載しております。

論文形式にとらわれないで、一般の方々にも分かりやすい内容で、皆様が日々の施療で活用され「これは効果がある!」と思われる技術などを下記要項にてご応募ください。

記

機関誌"日整広報はつらつ"「学術シリーズ」の投稿規程

- 1. 投稿原稿の内容 日々の施療で活用している有効な施療方法で、早期回復の技術や疼痛の 緩和方法など、患者様の訴えや日常的な問題をタイトルにしていただいて結構です。 (日整広報はつらつ掲載)
 - ・原稿はA4版で横書き、ワードなどで作成する。
 - ・文字数は2,000~2,500字程度。(日整広報はつらつ2ページくらいを限度に)
 - ・スライド (写真) 数は5枚以内

(ホームページ掲載)

- ・原稿はA4版で横書き、ワードなどで作成する。
- ・文字数・スライド (写真) 数は制限しません。
- 2. 投稿資格 公益社団法人日本柔道整復師会会員に限る。
- 3. 投稿原稿の採択 公益社団法人日本柔道整復師会学術部において決定する。
- 4. 送付方法 原稿およびデータを郵送またはメールにて送信ください。
- 5. 送 付 先 〒110-0007 東京都台東区上野公園16番 9 号 公益社団法人 日本柔道整復師会 学術部宛 電話 03-3821-3511 FAX 03-3822-2475
 - E-Mail Address: gakujutu@shadan-nissei.or.jp
- 6. 著作権 "日整広報はつらつ"に掲載された著作物の著作権は公益社団法人日本柔道整 復師会に帰属する。
- 7. その他 ご不明な点は日整学術部までお問い合わせください。

柔道グランドスラム東京大会2015 柔道国際医科学シンポジウム発表者募集のお知らせ

今年度も標記大会に併せて開催されます柔道国際医科学シンポジウムの発表演題を募集いたします。普段の研究成果を海外の医科学研究者とディスカッションできる場として有意義なシンポジウムですので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

【募集要項】

- 1. 応募資格 本会会員であること
- 2. 募集要項
 - (ア) 開催日時 平成27年12月3日(木)13時~17時(予定)
 - (イ) 会 場 講道館 東京都文京区春日1-16-30 (変更有)
 - (ウ) 募集内容 柔道選手に多い傷害について、柔道選手の傷害予防など
 - (エ) 募集人数 若干名(応募者多数の場合は選考させていただきます)
 - (オ) 発表形式 ポスター
 - (カ)費 用 手当、交通費、宿泊費支給
- 3. 募集締切 平成27年10月23日(金)

※演題名 日本語と英語

※アブストラクト 日本語(400字以内)と英語

※ポスターの作成 日本語

4. 問合せ先 (公社) 日本柔道整復師会 事務局 大場までお問合せください。

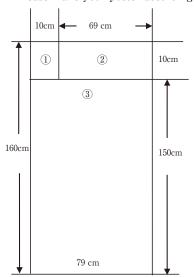
電話番号:03-3821-3511

E-mail: 日整 国際部 〈kokusaibu@shadan-nissei.or.jp〉

Poster presentation

Size of poster

Please make your poster according the following rules.



- ① Leave open (Organizer's use)
- 2 See the following format

③ Describe your work in English including Figures and pictures if necessary.

Abstract Form

- 1. アブストラクト
- 2. 発表者および共同研究者
- 3. E-mail、住所、電話番号ならびにFax番号
- 発表形式:(目的、方法、結果、考察)

学術部から

公益社団法人日本柔道整復師会 第40回中国学術大会 広島大会 会員発表(ハイライト)動画配信

日整学術部では、ホームページ上におきまして全国各ブロック学術大会発表の動 画を配信しています。

今回は、平成27年6月14日(日)にしまなみ交流館で開催されました中国学術大会 広島大会の会員発表を配信いたします。



(動画再生期間 2015年10月1日~2015年11月末)

【動画の見方】

日整ホームページ(http://www.shadan-nissei.or.jp/)にアクセスし、ログインの後 学術部→学術大会会員発表動画 または

→第40回中国学術大会 広島大会

をクリックしていただくことでご覧いただけます。

ユーザー名・パスワードは日整事務局 (電話 03-3821-3511) にお問い合わせください。

日整HPからご覧いただけます

[学術部]

- 1. 日整主催学術大会一覧
 - ·平成27年度公益社団法人日本柔道整復師会主催学術大会一覧
- 2. 学術大会会員発表動画一覧
 - ・平成26年度日整主催学術大会会員発表ダイジェスト動画一覧
- 3. 「学術シリーズ」原稿募集
- 4. 図書の紹介
- 5. 富山大学寄附講座
 - · 富山大学寄付講座活動報告 Vol. 6
 - · 富山大学寄附講座大学院修士課程入学案内
- 6. 論文検索システム
- 7. 「柔道整復学 | 専攻区分~「学士 | を目指す方へ~
 - ・独立行政法人大学評価・学位授与機構について
 - ・科目等履修生制度の開設大学一覧 ほか
- 8. 学術・生涯学習講習会報告
- 9. 生涯学習単位取得報告
 - ・平成25年度生涯学習・ボランティア活動単位取得報告
 - ・要綱(生涯学習単位取得要綱/ボランティア活動単位取得要綱)
 - ・様式(平成26年度生涯学習・ボランティア活動単位取得報告書)
- 10. 「骨継ぎの知恵袋」アイデア募集
- 11. 公認私的研究会

[国際部]

- 1. 学術大会における国際部活動報告 草原に架かる虹を追って―モンゴルでの記録― 第37回北信越学術大会 富山大会【動画配信】 第44回北海道学術大会 札幌大会【動画配信】
- 2. チンギスハーンの国⑧

柔道整復術を指導する講師としてモンゴル国を訪問した体験をご紹介いたします。 紙面に入りきらなかった写真も掲載しております。

- 3. 「日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト|情報
 - ・2015年度第一回日本研修 開講式 (6月4日開催)
 - ・2015年度第一回日本研修 中間報告会 (7月4日開催)
 - ・2015年度第一回日本研修 閉講式 (8月4日開催)
- 4. 柔道グランドスラム東京大会2015

柔道国際医科学シンポジウム発表者募集のお知らせ

上記柔道国際医科学シンポジウムの発表者を募集いたします。

研究成果の発表の場として、また海外の医科学研究者とディスカッションできる場として有意義な シンポジウムですので、奮ってご応募くださいますようよろしくお願い申し上げます。

- ·開催日時 平成27年12月3日(木)13時~17時(予定)
- ・応募締切 平成27年10月23日(金)
- ・応募要項 日整HP「国際部」をご覧ください。

【日整HP「会員ページ」へのアクセス方法】

日整ホームページ (http://www.shadan-nissei.or.jp/) にアクセスし右下の ログイン をクリックすることでご覧いただけます。 パスワードは所属社団名と氏名を告げて、日整事務局 (03-3821-3511) にお問い合わせください。

投稿

大阪府柔道整復師会 全国柔道高段者大会会員3名表彰される

大阪府 中野 文武



平成27年度の全国柔道高段者大会では、大阪 府柔道整復師会会員の3名の先生が栄えある30 回出場表彰を授与されました。

この表彰は、西日本の柔道家としては史上初の受賞となる素晴らしいものです。単純に考えても30年以上もの間、試合に出続けることは大変なことであります。

ましてや高段者大会であり、更に東京への遠 征出場となれば、その困難は想像に難くありません。

それでも出場を継続して来られた御三方の原動力をお聞きすると、やはり、柔道家としての熱い想い、柔道整復師としての柔道へのこだわり、また、昨今の柔道人口の推移を憂いて、少しでも柔道を盛り上げる役を担うのだという気持ち、そして、柔道整復業界にも刺激を与えたいという願いなど、柔道と柔道整復への深い愛情と情熱が継続をさせて来たものであるとのお話でした。

表彰式は、4月28日に講道館において開催された本年度の大会に併せて実施され、試合には総勢1,200名が出場。

その出場選手の中から30回出場表彰として、 大阪の柔道整復師である栗本忠弘会員(八段)、 牛島庸夫会員(七段)、増田洋会員(七段)の 3名が受賞され、過去31回出場の栗本八段が代



表拝受されました。

長年、大阪府柔道道場連盟の会長職を務めてこられた栗本八段は、業界でも知らない者もいないほどの柔道家であり、昨年の世界マスターズ柔道選手権優勝・金メダルを含めて、過去4度の世界マスターズ優勝をはじめ、その実力と斯道発展に寄与してこられた活動実績は枚挙に暇がありません。

大阪市内の桜川に居を構えられた栗本ビル事務所を訪れると数々の戦歴写真が飾られており、 筆者もそれを見るだけでも柔道家として楽しく、 いつも価値のあるひとときを過ごすことができます。

また、堺で施術所を開設しておられます牛島 七段は、刑務官の遍歴を経て柔道整復師に転身。 現在は地域の柔道大会への運営協力や、柔道整 復師として救護活動に尽力されるなどし、ご子 息も柔道整復師養成校の講師として後進の指導 にも当たられるなど、親子でご活躍されており ます。

増田七段も地域柔道大会などでの運営協力、 救護活動、近隣の高校柔道部の指導のほか、道 場を開き青少年の育成に日々、努められており ます。

先日も、関西系列のテレビ局が「60代アスリートをリサーチ」のテーマで増田七段の道場と

施術所へ取材に訪れ、道場風景や指導の様子、 若手タレントさんとの対決シーンなどが放送されました。

受賞されました御三方におかれましては、今後とも益々、後進に刺激と発破をかけていただけますよう、ご健勝とより一層のご活躍をお祈り申し上げます。

今回、こうして頑張っておられる先輩方のお背中を見るにつけ柔道整復師としての柔道への原点回帰の大切さを再認識し、筆者もまた柔道着に袖を通したくなりました。これをお読みの皆様も、久しぶりにお近くの町道場や出身校の柔道場などへ足を運ばれてみてはいかがでしょ

うか。きっと得るものがあることと確信いたします。

なお、このたびの受賞の様子は、講道館発行 「柔道 6 月号」にも掲載されました。

以上、柔道整復業界の現状にとっても、また 柔道の発展のためにも、元気の出る明るいニュ ースでありますのでご報告とさせていただきま した。

最後になりましたが、柔道に源流を持つ柔道整復師として、あらためて表彰されました先輩方に敬意を表しますとともに、このたびの受賞を心からお慶び申し上げます。

学術・生涯学習講習会開催のお知らせ

公益社団法人日本柔道整復師会「第23回学術・生涯学習講習会」を下記の日程で開催予定です。ご家族やお知り合いの方もお誘いの上、ご参加ください。

日 時:平成27年10月11日(日)正午

会 場:日本柔整会館 〒110-0007東京都台東区上野公園16-9

入 場:無料

公開講座プログラム(プログラム内容は変更する可能性がございます) 学術講習会

- · 富山大学寄附講座報告会 講師/西条寿夫 富山大学大学院教授
- · 会員発表 佐藤大介会員(岩手県)

生涯学習講習会

- ・全国ボランティア活動報告 難波健会員(中国地区 岡山県)
- ·特別講演 一般財団法人高雄病院

一般社団法人日本糖質制限医療推進協会 理事長 江部康二

申込に関するお問合せ

公益社団法人日本柔道整復師会事務局

FAX: 03-3822-2475 Mail: gakujutu@shadan-nissei.or.jp

日整フォーラム

Nissei Forum

国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります

北海道

第44回北海道学術大会 札幌大会特別講演 「野球肘の診断と治療」

講師

北海道大学大学院医学研究科機能再生医学講座 整形外科学分野教授 岩崎倫政先生

野球肘は日常生活で遭遇する頻度の多いスポーツ障害でありますが、その診断と治療に関しては未だ一定の見解が得られていないといわれています。今回の特別講演では頻度の高い内側側副靭帯損傷では靭帯再建術の現況、離断性骨軟骨炎では画像検査を中心とした診断についてご講演していただきました。(以下はその要旨)



▲岩崎倫政先生

【はじめに】

田中将大とダルビッシュ有、2人とも北海道にゆかりのある選手でありメジャーでもエース級の選手です。しかしながら、2人とも肘の内側側副靭帯損傷に見舞われ、田中は手術を回避して自らの血液から血小板のみ集めてそこに注射する治療、ダルビッシュは手術を受けました。治療法は違いますが2人とも治療、更にリハビリ等でシーズンの半分、もしくは1年近くを棒

に振ってしまいました。

【日米における対応】

アメリカは去年「PITCH SMART(ピッチスマート)」という各年齢層に応じたガイドラインを作り、8歳から18歳で細かく年齢を切って投球数の制限や年間の非投球期間を設定しました。なぜこのように徹底できるのかというと、メジャーリーグ機構と整形外科医がタイアップしているからです。残念ながら日本はプロ野球機構と整形外科医との設定はありません。

【投球による肘障害の発生機序】

外反力、要するに肘が外に持っていかれる状態です。こうなると肘の内側には牽引力(伸ばす力)、肘の外側には圧迫力(押し付けられる力)が掛かります。側面から見ると最終的にはボールを投げると肘は伸びます。肘の後ろには圧迫力、肘の前には牽引力が掛かります。これが投球時の肘に掛かる原則的な力学的なストレスです。

【野球肘の作用】

野球肘とは一つの病気を指しているのではなく特殊な力学的な環境に肘が置かれ、これにより異なる障害が混在しているものです。内側型は牽引力により柔らかい組織が引っ張られて障害が起こり、代表的なものが内側側副靭帯損傷、尺骨神経の損傷です。外側型は圧迫力により靭帯は弛む方向へ働き、関節がぶつかり合うので離断性骨軟骨炎が起こります。

【力学的(バイオメタルニクス)の観点】

外反ストレス64ニュートンメートルという外 反力が一般的な130~140キロの球を投げるピッ チャーに掛かります。32ニュートンメートルで 内側側副靭帯の細かい繊維が切れる力とほぼ一 緒ですので、一般的な投球動作で常に繊維が切 れているということです。しかし、切れても若 い選手であれば数日で修復します。ですから内 側側副靭帯損傷はなかなか防ぎようのないもの です。離断性骨軟骨炎は上腕骨小頭に起こります。 更に内側側副靭帯の損傷があると、その力によ って軟骨仮骨層で微小骨折や血行障害が起こり ます。このように力学的に考えて野球肘というも のは、通常の生理的な状態で投球をすることで さまざまな病態が起こることが分かります。

【内側側副靭帯損傷の診断】

投手が8回・9回になると小指が冷たくなったり痺れたり、もしくは握力が落ちてきてカーブやフォークがすっぽ抜けるなどの症状があれば、おそらく内側側副靭帯の損傷に加えて尺骨神経麻痺もあると我われは考えます。臨床症状として投球時の内側部痛、小指・薬指の痺れ、球の握りの甘さなどの症状、実際の診察では肘内側の圧痛、肘・前腕の可動域低下肘内側の不安定性がでてきます。それに対して特殊なテストや超音波(エコー)を使って診察します。

【内側側副靭帯損傷の治療】

どんなに酷くても保存的に診ます。特別なことはせずに投球を止めさせます。あとは前腕の周りの筋肉を鍛えるようなリハビリをさせて、状況などから3ヶ月~6ヶ月くらい投球中止期間を設けてから復帰させます。それでもプロを目指すなど野球の継続を強く希望する人には、我われは最終的手段として手術的な治療を行うように考えています。外科的な治療には皆さんご存知のトミー・ジョン手術があります。日本ではジョーブ博士が行った手術としてジョーブ法として有名です。靭帯をいじらないで、ここに手首や膝から持ってきた腱で再建術を行うものです。

【手術後の状況】

手術後1年間ほどのリハビリは長く感じられますが、肘の靭帯再腱をした場合等張性運動をしないので、肘の屈伸によって靭帯に掛かる力は常に増加します。要するに術後肘が硬くならないように動かすということができないので、移植した靭帯が確実に成熟しないとリハビリが開始できません。ですから十分な期間肘の安静が必要なのです。

【手術後の復帰率】

北大の症例になりますが、20歳大学生ピッチ



▲講演風景

ャー(145キロ投げる)が術後1年の状態で復帰します。受傷前のレベルに復帰可能で合併症もなく、スコアを付けると200点満点中190点という良好な結果が得られています。この結果が良いか悪いかは人によって変わりますが、客観的に考えると復帰率は8割、合併症2割、再手術1割弱というのが現状です。

【現時点の内側側副靭帯損傷の問題点】

1年間ではなくもっと早く復帰させることです。あとハイレベルの選手の成績がどうも良くないので、以前のようなパフォーマンスに戻すこと。この2つを我われは克服しなければならないという状況に立たされています。

【離断性骨軟骨炎の診断】

離断性骨軟骨炎(OCD)の特徴としては10 代前半のオーバーヘッドアスリート、投球動作 をするような人に好発し、上腕骨小頭のほとん どが外側に出て関節の軟骨と軟骨仮骨、関節の すぐ下の骨に病変が及ぶ疾患です。臨床症状に は肘の関節痛とかクリック感、ロッキング症状 や急に肘が伸びなくなったというような症状が ありますが、基本的には離断性骨軟骨炎は特徴 的な症状とか理学的所見はないです。離断性骨 軟骨炎があっても、内側側副靭帯の損傷がある ので見過ごしていることがよくあります。やは り画像診断に頼らざるを得ません。レントゲン、 CT、MRIでは安定型病変なのか不安定型病変 なのかを決める一つの指標として使っています。 最近は肘の内側側副靭帯損傷と同じように超音 波検査が非常に強力なツールとなっています。

【離断性骨軟骨炎の治療】

治療法は、小さい穴をあけてここに骨髄液というのを骨から出してその中にある細胞を集積 させて自然に治すという骨髄刺激法(ドリリン



▲講演する岩崎先生

グ)を行っています。しかしこの方法だと治っても繊維組織、繊維軟骨組織による修復しか期待できません。そこで最近は骨軟骨柱移植、いわゆる軟骨細胞移植術というものが出てきました。こういう治療法が出てきたことによって従来の正常な軟骨いわゆる硝子軟骨というもので修復することが近年可能になってきているので、我われは骨軟骨欠損対して非常に強力な手術法を手にしているという状況です。

【離断性骨軟骨炎の治療方針】

我われが考える離断性骨軟骨炎に対する治療 方針とは安定型の早期の病変に関しては基本的 には保存的治療、簡単に言うと投球禁止です。 これで症状が良くならない、不安定型病変とい う場合は手術的な治療をします。骨軟骨柱移植 術、軟骨細胞移植術などの再生医療はもう少し 時間が経たないと一般化されませんが、将来的 にはこういう面も含めて治療が行われるだろう と思われます。

【野球肘検診】

肘の内側側副靭帯損傷、離断性骨軟骨炎は早ければ手術しないでも治る疾患です。そういう意味では我われは野球肘検診を行い、なるべく発症の予防もしくは早期の診断をして治療を行うという考えが必要です。

【おわりに】

肘の靭帯再建術とか骨軟骨柱移植をするとある程度トップレベル、プロではない少年野球レベルでは十分復帰できます。更により低侵襲で治すというような治療法を開発することで進行した人でも安心してすぐに復帰できるような治療法を我われ医療サイドは開発して、両方を持って患者様にアプローチするというのが大事ではないかなと思います。 (広報員 高山訓正)

山形

さくらんぼマラソン大会

平成27年6月7日(日)、雲一つない絶好の晴天の下、第14回山形県東根市さくらんぼマラソン大会が、山形県東根市、陸上自衛隊第6師団神町駐屯地大営庭を会場に開催されました。

今回のランナーエントリーは約12,400人です。 大変人気のあるマラソン大会のため全国から 大勢のランナーが集まります。今年は山形県内 から4,700人、県外7,700人。ちなみに、お隣の 宮城県から3,300人、東京都からは1,000人、遠 くは九州・沖縄から30人等々。

選手は、前日から家族共々あるいは友人同士 で来県するため、ご当地の東根温泉や近隣の天 童・村山・山形駅周辺の旅館、ホテルは全て満 員です。

私たちは、今年で8回目のボランティアでの 参加となります。

本会会員20名とお手伝い2名の計22名で公益 社団法人山形県柔道整復師会STAFFと入った 新調ビブスを着てレース前のキネシオテーピン グおよびレース後のケア活動を行いました。





この大会では無料のテーピングとレース後のケアが受けられることが定着し、相当数リピーターがブースを訪れて来ます。

自衛隊の基地内での大会ですので交通等の妨げもなく、テント設営も自衛隊の協力があり安全に配慮されている点で他の大会と比べ参加人数が増えていると思います。

それよりも完走賞の「さくらんぼ」がお目当 てかもしれません。

いずれにせよ、柔道整復師の施術を体験され 再度、訪れていただき、健康増進と当地の温かい「山形のおもてなし」に浸っていただきたい と思います。 (広報員 奥山治朗)

埼玉

新座市の高齢者介護予防普及啓発事業 (運動器の機能向上)の調査と報告

平成19年新座市より本会朝霞支部会員の指導の下、施術所、公民館、柔道場等市内6ヶ所で65歳以上の高齢者に元気が出る運動器の機能向上と転倒予防の業務委託があり、年間全6回(1クール3回)2クールを実施して高齢者の機能向上にけが予防、筋力アップの体操(こつこつ体操)を行っています。

65歳以上の高齢者の調査で、新座市では高齢者の筋・骨格(骨祖しょう症、関節疾患)の有病率は全体で9.3%(男性3.1%女性14.5%)となっており、男性より女性で顕著に高くなっています。

年齢別に見ると男女共に年齢が高いほど有病率が高くなり、男性では80歳代後半、女性では80歳代前半がピークになっています。

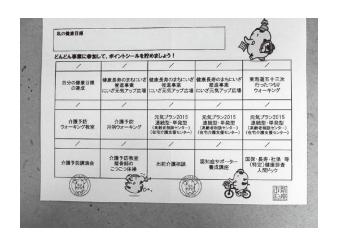
運動習慣についてみると全体で最も多いのは「ほぼ毎日」で26.6%、次いで「していない」22%、「週 $2\sim3$ 回」17%、次いで「週 $4\sim5$ 回」12%が続いている。

性別では、男性のほうが運動習慣があるとの 回答が多くなっている。また、男女とも(年齢 別)に見ると70歳前半でほぼ毎日とする回答が 多い。要介護が重くなるほど運動しているとの 回答が少なくなっている。

新座市の要介護要支援認定を受けていない高 齢者のうち74%の高齢者が一次予防事業対象者 (元気高齢者) であることから、元気高齢者に対する一次予防事業を更に充実させるとともに高齢者自ら進んで介護予防の活動に継続的に参加できる環境づくりが必要である。

地域の人との繋がりを通して柔道整復師の活動が広がるよう高齢者支援事業に取り組んでいきたいと思います。





(広報員 吉田幸作)

千 葉

運動器超音波画像と 柔整療法研究会

本会の嶋木敏輝会員が主管する標記の研究会が、平成27年7月12日(日)本会会館において開催され、本会会員のほか広く地域の垣根を越え聴講者が参加した。

I、研究会

実験①「触診と筋の硬さ(エラストグラフィ) の比較検討|

エラストグラフィを利用して筋の硬度分布を 可視化し柔整施術の評価に応用。



▲嶋木会員

手順

- 1. 肩こりを題材に筋硬度計で患部 (僧坊筋) の体表からアプローチし皮下硬度を測定
- 2. 超音波エラストグラフィで組織の硬度分布を診る
- 3. 患部に一定の施術を行ったあと再度硬度を 測定し施術を評価
- 4. 再度エラストグラフィで組織の硬度分布を 診て施術を評価

以上のデータを集計し一定の普遍的評価を得たが、絶対評価を望むには、今後の継続的実験によるデータの蓄積と、その分析が必要と考える。

(参考) エラストグラフィとは

超音波検査でしこりの硬さを画像化する世界初の技術で、力を加えたときに柔らかいものであれば大きな変形を生ずるが、硬いものであればほとんど変形しない。その変形の程度を色で表したものがエラストグラフィであり、周囲より硬い部分は青く表示される。

実験② 肘部表在血管とプローブに掛かる力の 関係について

やじろべえの原理を応用し、被検部(肘関節



▲(左) 稲見助教と佐藤講師

屈側部)に対するプローブの圧力をゼロにして 静脈を描出し、徐々に加圧し何グラムで静脈が つぶれるかを実験した。

その結果年齢による静脈の脆弱性の差異を顕 著に診ることができた。

Ⅱ、特別講演

講演(1)

「超音波で診る骨格筋〜エラストグラフィ法に よる筋の硬さ評価と臨床応用〜」

講師

早稲田大学スポーツ科学学術院

スポーツ科学研究センター次席研究員研究員助教 稲見崇孝先生

先生の研究室でのコンプレッションエラストグラフィを駆使した、さまざまな負荷をかけての皮下組織の変化を体表からアプローチし、筋の硬さの定量の測定方法、実際のプローブの当て方のテクニック、エラストグラフィの読影方法など、臨床応用を含め解説された。

講演(2)

「超音波診断装置で下肢の疾患を診分ける」 講 師

公益社団法人東京都柔道整復師会世田谷支部長 運動器超音波研究会 佐藤和伸先生

我が業界超音波研究の第一人者佐藤先生ならではの、豊富な臨床経験による診かたを、今回は下腿に限定し、鑑別診断を含め症例ごとに詳細にテクニックと読影を解説された。

講演③

「疼痛緩和・ROM拡大に着目した電気刺激治療器の効果的な使用方法

講師

(株)日本メディックス 橋本博光先生 続いて介護事業現場での貴重な経験から得ら れた以下の研究発表が報告された。

演題①「脊髄小脳変性症のリハビリー

みやのぎ整骨院 中陳将大

演題②「デイサービスでの利用者様の健康状態の把握」みやのぎ整骨院 関 大輔

演題③「当デイサービスでの疾病分類」

嶋木鍼灸接骨院 森川美里

(広報員 渡辺 勇)

山梨

第36回県下少年柔道選手権大会

平成27年6月21日(日)、午前9時30分から小瀬スポーツ公園県立武道館において標記大会が開催され、多くのご来賓に出席していただいた中、小学校3年生から中学校3年生まで、男女461名が参加し、熱戦が繰り広げられました。



選手の礼法、気迫ともに素晴らしく、また、父 兄の皆様や選手の応援する姿勢、マナーも大変 素晴らしく、成功裡に大会が終了いたしました。

また、来年度には、県下少年柔道形競技会の 開催を予定しております。

選手権大会同様に、形競技会においても、修 練、技術向上に励んでいただき、盛大に開催さ れることを願います。

第24回日整全国少年柔道大会山梨県代表選手 は以下のとおり。

小4男子優勝・柏木 一採

小5男子優勝・鄭 拓凡

小5女子優勝・山本 海蘭

小 6 男子優勝・渡辺 賢

小6男子2位·林部 優季

(広報員 渡辺直也)

東京

第5回柔整未来塾

平成27年2月28日(土)、陽春を感じさせる暖かな晴天の中、都柔整会館3F研修ホールにおいて、本会役員と委員部員・支部長・各支部塾



▲講演する尾辻先生

生約80名の都柔整の将来を担う会員が参加し 「第5回柔整未来塾」が開催された。

春原博総務部長の司会進行の下、伊藤述史副 会長の「開会の辞」によって開会が宣言された。 工藤鉄男会長の冒頭挨拶では「先達から言われ ているように、我われにとって人づくりをする ために行動を起こし立派な人材を残していくこ とは最重要課題である。その伝統を継承すべく 始まったのが「柔整未来塾」である。本日、ご 講演を賜る参議院議員の尾辻秀久先生は元厚生 労働大臣であり、多岐にわたりご指導を賜って いる。現在の厚生労働省でも社会保障を含め、 国家の選定する決め事に対して尊大な影響力を 持っているお方である。また、皆さんは各支部 より選抜された精鋭である。今回の講義で学ん だ知識を各支部に持ち帰り、ぜひ、その詳細を ご報告いただきたい」との励ましの言葉があっ た。

続いて、春原総務部長による講師紹介の後、 尾辻先生からご講義をいただいた。

先生は「柔道整復師が正しく施術を行える制度環境を整えることができれば、柔道整復師が社会保障費の削減にも確実に貢献し、必ず国民



▲未来塾

のために役立つ。(「日整広報はつらつ」平成27年1月号巻頭言)」との工藤会長の決意に対して「微力ながら、一緒に尽力することをお約束するとともに、私の講義がそれに向けて少しでも役に立つならば、これ以上の喜びはありません」と冒頭から心強いお言葉をいただいた。

講義は「今後の社会保障制度について」と題 して、日本医療の評価(WHO総合評価では1位) について。日本の宝である国民皆保険について。 アメリカからの年次改革要望書の解説(郵政民 営化→農協改革→国民皆保険と年々要望は厳し くなる)。社会保障と財政における国債発行額 の推移(日本の借金は1,000兆を超える)。国費 における社会保障費率(政策経費の54%)。安 定財源の確保として消費税率の引上げ(現状で は今の医療を維持できないのが本音) 等、現在 の医療における深刻な現状、国際社会における 日本の置かれている立場、今後の進むべき方向 性について、詳しいデータを基にご講義いただ いた。参加者にとっては、改めて柔道整復を取 り巻く環境について理解を深めるとともに、自 ら歩むべき具体的行動が明らかになったことと 思う。

続いて、受講生に修了証の授与式が行われ、 最後は橋本副会長の「閉会の辞」で5回目とな る「柔整未来塾」は閉幕した。

総括として、今回の講師である尾辻先生は、 防衛大学入学後、再度教養を磨くため東京大学 へと進学。また、25歳のときにはフランス郵船 で出航し、5年で77ヶ国を巡るといったプロフ ィールが示すように、向学心に溢れ、積極的に 行動する姿勢を貫いており、正直圧倒させられ た。溢れ出るオーラとエネルギッシュな風格は、 ただ映像視される小柄で温和な風貌とは異なり、 その貫禄ある存在感を眼の当たりにできただけ でも価値のある「柔整未来塾」であったと満足 に浸れる。今回の講義は、まさに我われ柔道整 復師の業務存続の危機について、何よりも日本 国家自体の存続の危機を突き付けられた内容で あった。拝聴していると「何かしなければ」「何 をすべきか?」とジッとしていられず、悠長に 構えていられなくなる、そんな不安と焦りを掻 立てられる1時間であった。国家、業界、組織 と危機が迫り来る中で、いよいよ「己」自身に 降りかかる危機にどのように対処していくべき

かを、真剣に考えなければならない時代に突入 したのではないかと思えた。

(広報員 吉田省吾)

静岡

地域ケア会議に参入

平成27年6月3日(水)、静岡市役所の村岡弘 康保健福祉局長室を訪問。

静岡市葵区、駿河区、清水区の会員4名と共に「柔道整復師を地域資源の一つとして静岡市に活用していただきたい」旨の要望書を本会中部地区小澤喜一支部長が村岡局長に手渡した。

市役所側からは、羽根田信人高齢者福祉課参与課長、平林則彦課長補佐兼企画係長、松永秀昭次長兼福祉部長、地域包括ケア推進係木下晴美担当課長兼係長4名が列席の中、小澤支部長が我われ柔道整復師活用法の提案内容を詳細に示した。



最後に、地域包括ケア推進係木下様より「地域ケア会議の場にぜひとも出席をして、静岡市独自の地域包括ケアシステムづくりに協力をしていただきたい」と我われが待ち望んでいた言葉を告げられた。

我われからは、3地区会員の名簿を手渡し平成29年4月1日から本格稼働となるまで市政に協力することを約束し相互の関係強化を誓った。

(広報員 上杉一寿)

愛知

東アジア選手権で少年の形を披露

平成27年6月20日(土)・21日(日)、愛知県武 道館で開催された第8回東アジア柔道選手権大 会において、本会主催の形競技会で上位入賞した2チームが投げの形を披露した。

愛知県柔道整復師会は県下10支部で組織構成されている。6月7日(日)、その各支部で会員に指導を受けた代表の10チームが出場し、第4回少年柔道形競技会が開催された。どのチームも会員の熱い指導により磨き上げられた技を披露し、レベルの高い戦いを繰り広げ、半田支部の萩田兼市(取)・石原涼葉(受)ペアが優勝、刈谷支部の加藤陸人(取)・井上柔(受)ペアが準優勝を果たした。優勝した半田支部は、森正仁会員が監督を務める。森会員は講道館形講習会にも何度も参加し、少年の形の充実に情熱を注いでおり、第1回大会から4年連続優勝という快挙を成し遂げている。

東アジア柔道選手権大会は2006年のモンゴルでの開催を皮切りに、中国・チャイニーズタイペイ・マカオ・香港・韓国などで行われ、今回が日本での初開催となる。歴代優勝者には、平岡拓晃・泉浩・高井洋平・七戸龍や、福見友子・山岸絵美・杉本美香などの有名選手がいる。



▲半田チーム (萩田・石原ペア)



▲刈谷チーム(加藤・井上ペア)

大会の主管は全日本柔道連盟とともに愛知県 柔道連盟(県柔連)が務める。その県柔連から、 本会形競技会出場の上位2チームに対して大会 での演武披露の要請があった。本会と県柔連と は、柔道大会救護に会員を派遣したり少年形競 技会で審査員をお願いしたりするなど、長年に わたり良好な協力関係にあることで、水野博介 事務局長を通じて本会に依頼があり、それに応 える形で実現の運びとなった。

2チームの演武は大会2日目の3位決定戦前に、試合場2面を使い同時に行われた。多くの観客が見つめるなか、ともに見事な演武を披露し、本会少年形競技会のレベルの高さを証明した。大会関係者の評価も非常に高く、全日本チーム男子監督の井上康生氏が演武終了後、わざわざ半田ペアを呼んで成果を称える場面や、月刊「近代柔道」から取材を受ける場面も見られた。どちらのチームも非常に貴重な経験と大きな自信を得たに違いない。



また日本初開催の今大会は、本会関係者が多く関わった。森川伸治会長(県柔連顧問)が来 賓として招待され、春日井和幸柔道部長が大会 係員(実行委員・救護係)として参加した。ま た県柔連の要職にある会員らも会場内で運営を 見守った。更には石田雅明会員の2人の娘さん である桃子選手(米田柔整)と真理子選手(南 山大)が決勝戦の前に柔の形を披露した。

大会は韓国やモンゴルなど8ヶ国・地域が参加して個人戦と団体戦で行われた(北朝鮮はエントリーしながらも来日しなかったとのこと)。日本選手団は各階級2名ずつ男女14名ずつが参加した。その中には、かつて本会少年少女柔道大会で優秀な成績を修めた、中井貴裕(パーク

24) や六郷雄平 (了徳寺学園)・中江美裕 (大成高)・鍋倉那美 (大成高)・月野珠里 (山梨学院大)・黒木七都美 (大成高) ら多くの選手が名を連ね、それぞれ奮闘活躍した。選手団に本会に関わりのある選手が多く選ばれ活躍したことは本会としても誇らしく、また特筆すべきことである。今後の更なる飛躍を期待したい。

大会は全階級を日本勢が制し、団体戦でも男 女ともに日本チームが優勝した。

(広報員 長谷川貴一)

京都

普通救命講習会

平成27年7月5日(日)、午前9時から京都府 柔道整復師会館5階大会議室において、普通救 命講習会が開催されました。普通救命講習は、 消防局が全国的に行っているもので、応急手当 のうち最低限必要なAEDの使用方法を含めた 成人に対する心肺蘇生法(胸骨圧迫)、止血法、 異物除去などを学ぶ講習です。本会では既に何 度か開催されており、昨年は5月に開催されて います。この日は41名の参加がありました。

林啓史副会長の開会挨拶の後、講師の京都市 消防局東山消防署警防課救急係の玉置守係長に より講習が開始されました。講習は前半1時間、 パワーポイントを使った講義が行われました。 内容は応急手当の重要性から始まり、心肺蘇生 法の手順、胸骨圧迫のやり方、AEDの使用法 などであり、長年救急に携わって来られた経験 からの実話を交えて詳細に講義が進められまし た。

後半は3つのグループに分かれ、サポート講師の沢村様、若狭様、立野様も交えて実技へと移りました。まず、心肺蘇生訓練用人形を使用して胸骨圧迫を1人ずつ交代して行いました。胸骨圧迫は「強く、速く、絶え間なく」ということですが速すぎても良くなく、感覚を講師の先生から指導を受けました。次に数人ずつのグループに分かれ、救命を想定したシミュレーションは「清水寺参道を歩行していたおじいさんが倒れた」というもので、グループ内で一番若い参加者がリーダーとなり、観察、人を呼び、救急車依頼、

AEDの依頼、気道確保を指示、胸骨圧迫開始、 AED装着というふうに順次進めて行き、実際 の手順を学びました。

活発に質疑応答が行われた後、出血についてお話があり、清潔なタオルを折りたたみ傷口を直接圧迫する止血法について解説されました。最後に岡田達也事業部副部長より閉会挨拶があり、12時30分に講習会は終了しました。偶然現場に居合せたり、目の前で家族、友人が倒れたりしたときに、少しでも救急救命法の知識とスキルがあれば尊い命が助かるかもしれません。そのようなときに備えて我われ柔道整復師にとっても必須の講習であると感じました。



▲会場の様子



▲講演する玉置講師

(広報員 中川稔貴)

香川

第2回日整四国少年柔道大会 第5回日整四国少年柔道形競技会 第39回日整四国ブロック柔道大会

平成27年7月19日(日)、午前10時から愛媛県 武道館にて標記の試合が行われた。日整四国ブ ロック会・本会石原誠会長より開会宣言があり、 続いて(公社)愛媛県接骨師会大川健介会長より



▲挨拶する大川会長(愛媛)



開催県としての謝辞また選手への激励の挨拶が 述べられた。

①少年柔道形競技会は3チームが出場した。成績結果は1位、香川県(受)大西晃洋(取)宮武真登、2位、愛媛県(受)土肥大雅(取)大西海空翔、3位、高知県、(受)中本壮二郎(取)別役啓、以上の順位となった。

②少年柔道大会団体トーナメント試合では、香川県チームが優勝し、愛媛県チーム準優勝、高知県チームが3位となった。

③四国ブロック柔道大会・日整全国柔道大会出場ブロック予選では、20代・多田慎吾(香川県)、30代・古味直憲、吉本大輔(高知県)40代・福井宏治(愛媛県)、50代・茂木春喜(高知県)、各県の選手が選出された。亀岡英仁監督(愛媛県)、鎌倉和広審判員(香川県)がそれぞれ選定された。本試合での敢闘賞は、松石恭幸・高尾直正(香川県)西田寛・上岡真大・坂本耕作(高知県)5名の選手に授与された。

④四国ブロック柔道大会(一般の部)として30 代・横田裕(愛媛県)、40代・沖秀和(愛媛県)、 50代・大黒一生(高知県)各選手が優勝した。 ⑤日整四国ブロック柔道大会功労賞は、多田慎 吾・宮本治彦 (香川県) 飛崎哲治・茂木春喜 (高知県)、魚崎陽一郎・井上俊幸・堀川勝利・大川健介 (愛媛県) 以上、各県8名の選手に授与された。

最後に日整四国ブロック会、(一社)高知県 柔道整復師会・小川八十一会長により閉会宣言 が述べられ本大会は終了した。

(広報員 武田雄兒)

愛媛

平成27年度少年柔道大会

平成27年7月5日(日)、文部科学大臣杯争奪、第24回日整全国少年柔道大会、第5回愛媛県予選会、文部科学大臣杯争奪第5回日整全国少年柔道形競技会、第5回四国ブロック予選会、第4回愛媛県予選会が宇和島市総合体育館3階柔道場にて開催されました。



▲大川会長と日整大会代表選手

本格的な梅雨に入り台風9・10・11号が日本列島に近づく中、大会役員、引率応援者や選手、14団体約350名が参加しました。午前10時から、久保悟理事の司会進行により、武田満夫大会副会長の開会宣言、大川健介大会長より挨拶、平山力(一財)愛媛県柔道協会副会長より来賓祝辞をいただきました。亀岡英仁審判長より審判注意があり、津島柔道会岡本悠冶選手による選手宣誓後、試合が始まりました。

第24回日整全国少年柔道大会愛媛県代表は下 記のとおりです。

県代表名 長野壮志 岡本悠冶 高橋颯葉 若谷 快 杉本明豊

少年形出場名 大西海空翔 土肥大雅

最後に武田満夫大会副会長により、閉会宣言 にて無事終了しました。

(広報員 井関澄男)

福岡

博士学位取得会員に表彰状授与

本会の米女博司会員が、平成27年3月25日 (水)に九州大学歯学府大学院博士(学術)歯博 甲第六三八号を取得された。

米女会員は、平成18年4月に九州大学大学院 歯学研究院研究生として入局され、日頃は柔道 整復師養成施設に勤務して教鞭を取る一方、付 属整骨院において柔道整復師として業務を行い ながら骨代謝の研究に励まれた。

実に9年間の歳月をかけての学位取得となったが、さまざまな困難を乗り越えての取得は並 大抵の努力ではなかったことだと思われる。

この学位取得への道を踏み出すきっかけを本 人に伺ったところ、勤務先の校長である田中輝 男九州大学名誉教授からの勧めと、米女会員の 奥様による強い後押しの言葉があったからと言 われた。また、博士号を取得できたことは、指 導していただいた教官をはじめ、研究室、勤務 先の仲間や家族など多く人たちの支えと手助け による奇跡だと語られた。

本会会員が博士の学位を取得するのは初めての快挙であり、他の会員の目標やお手本になってもらいたいと、平成27年5月26日(火)に米女会員の勤務先である福岡医健専門学校において、その栄誉を称え表彰状が授与された。今後、米女会員に続くような会員が続々と現れることを期待したい。



▲表彰された米女(よねめ)会員

<米女会員の論文>

International Journal Nutrition提出論文

Milk basic protein supplementation enhances fracture healing in mice

九州大学歯学部大学院提出論文

「乳塩基性タンパク投与によるマウス骨折治癒 促進効果 |

(広報員 勢木博之)

佐 賀

東日本大震災に対する義援金活動の継続

想像を絶する被害をもたらした災害、平成23 年3月11日からすでに4年が経過した。

情報も二転三転し新たな問題の発生もあり、 国の復興対策も思うようにははかどっていない 様子である。

被災された方々のご苦労・ご心情も簡単には 癒されていないことであろう。察するに余ると ころである。年次経過は早いものであるが、ま だまだ残された課題は山積み、多大の労力と時 間を要するものと推測される。

当会の恒例行事の一つである中学生柔道錬成大会も第30回を迎える記念大会となり、同時に義援金を募るための募金箱も設置して以来4年目となる。微力ではあるが被災地の復興に活かされることを祈り、継続させていただいている。

我われ県柔道整復師会からの補助金との合計 を、佐賀新聞社の佐賀善意銀行へ寄託した。



▲義援金を手渡す冨永会長(右)

(広報員 小嶋利博)

整文

蝉しぐれ

俳

句

群馬県

鈴木

乗風

般投稿〉

短短

歌

奈良県

長谷川治三郎

Щ

ガールお花畑に勝ってる

登山道命の水が流れ落ち

足跡が進む我が道教えてる

藍ゆかた河鹿の声に歩をとどめ

しぐれ風さやかなる過疎の

(作品は1人3首(句)までといたします)

後鳥羽院両手を染め

いし絶筆の

0

小さき手印言葉に出来ぬ

短

歌

波立たぬよう黄泉降りしらむ 素盞雄大神海を治められスサノオノオオカミ

福岡県 屮

智章

知床

ウト

ロ港沈む夕日とゴジラ岩

岩陰に可憐に咲くや黒百合が

石川県

東

勝

III 柳

北海道

船付き場熊がうろうろ餌さがし

阿部

篤夫

「日整文芸欄では一般の方々からの投稿を募集しております」

広報部

日整文芸は、会員の方に加え、一般の方々からも「短歌」「俳句」「川柳」を募集します。一般の方 の投稿は、日本柔道整復師会会員を通じて、都道府県名、紹介会員名および連絡先、作品提出者名を 明記の上、ご応募してください。

日整文芸を通じて読者の皆様とよい交流の場となればと願っております。 作品は会員と同じく1人3首〈句〉までといたします。多くのご応募をお待ちしております。

〒110−0007 東京都台東区上野公園16番9号 宛 先

> 公益社団法人 日本柔道整復師会広報部 TEL: 03-3821-3511 FAX: 03-3822-2475 E-mail: kouhou@shadan-nissei.or.jp

新樹光

新樹光朝の挨拶よく通る

秀吉が鯖をほおばる半夏生

滝涼し皆良い人に見えてくる

連なりし青嶺ゆるがす幾雷火

田上

福井県

川べりに火を灯すホタルや夕闇のひと時の雨やみいれば

花の色とてうるわしきさま雨止てつかの間の陽が差しい

でし

ここちよきかな初夏のなぎさ砂浜に立て仰げば潮風が

風美

滋良

 $\overline{\Pi}$ 柳

か おる

知県

ため息をそっと飲み込む金魚鉢 ハーモニカ

あの山を越えれば風が変わるかも

愛の飢少年の日の

編集後記

■日本医師会が、研修医の日医会費を今年度から無料化した、との記事が目に留まった。若い 医師にとって身近な業界組織にするための苦渋 の策なのかもしれません。

組織率の低下は、柔整業界のみならず、医療業界における共通の問題点なのだと感じます。このような厳しい状況下で「まじめ」な接骨院・整骨院に対する誤った認識を改善すべく、会員一丸となって資質向上に努めることこそ「公益社団法人会員の柔道整復師」に対しての信頼感を高め、組織率向上に繋がると確信します。公益社団法人日本柔道整復師会が得た信頼が、患者様や保険者を介して全国会員の皆様方が施す日々の施術に反映されたとき「ふまじめ」な施術所が淘汰されていくことでしょう。

(守可和)

■卒業時、恩師から色紙をいただいた。「患者 第一 |。

しかし、施術者が思っていることと患者が望んでいることは必ず一致することはない。患者は、何を欲しているのか。正しいコミュニケーション作りは施術者の大切な要素だ。

患者には、それぞれの生活があり、人生観も ある。十人十色、患者の早い社会復帰を心掛け る。これが「患者第一」だろう。

日整では工藤体制の二期目がスタートした。 会員との絆である広報誌「日整広報はつらつ」 はその役目を果たしているだろうか?

日整の動きを正確に会員にそして国民に伝え ているだろうか?

会員諸氏のご意見もいただきたい。そして、 日整、会員、国民のコミュニケーションづくり に一層努力をしたい。 (晴天雀)

■今号の柔整サロン「災害時の被災者支援」を 拝読し、東日本大震災のボランティア活動に短 期間ではあったが参加し、多くの課題と反省点 を抱えながら帰路についたことを思い出した。

秋冨医師からの「市町村、県、国が相互に繋がること、被災地に寄り添うような支援をすることが大事。柔道整復師さんはケガに対する処

置ができる、被災者の健康指導もできるということを、災害対策本部とそして被災地と連絡を取って共有化すれば絶対に協力ができ、望まれた支援ができる」と貴重なご意見とご助言をいただき柔道整復師が行う「災害時の被災者支援」に大きな期待が見えてきた。全国で行われている災害時のボランティア活動や救護訓練の更なる充実と、柔道整復師ならではの日整 DJAT の活動に期待したい。 (家真舵)

■当たり前のことが当たり前にできない現状、 それは、広告の制限です。すでに明確に示され ているのにも関わらず、違法であると明らかに 判断できるものが後を絶ちません。

一つの打開策ですが、開設するときには保健所に「開設届け」を提出し保健所調査にて問題なければ許可されます。私が思うに、この開設「届け」を「申請」に変更すれば保健所の調査に今より強い「権限」が付くと思います。つまり、全てが満たされていなければ「許可」できないということです。

保健所曰く「このように法律を変えていただければ私たちも社団様のご希望に沿えるようなことができると思います」とのことでした。

(尾座和)

■8月4日に行われた2015年度第1回日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクト閉講式(8頁掲載)に取材の立場で出席しました。モンゴル人3名の研修生が5年の間に4回、5回と積極的に学ぶ自主性に今回も深く感動しました。研修先の病院、接骨院や整骨院から「勉強熱心で日本語を巧みに話し、患者さんとのコミュニケーションが上手くとれている」と称賛されています。

柔道整復術の知識や技術の習得とともに人との関わり方も学び、医療従事者の最も大事な原点である"思いやりの心"が育まれています。 外務省やJICAをはじめ全ての関係者の皆様に良い印象を与えており、公益社団法人日本柔道整復師会の面目躍如といったところでしょうか。柔道整復術がモンゴルで普及発展し、国益に繋がっていく日はそう遠くないでしょう。

(多夢楽)

〈表紙解説〉

世界スカウトジャンボリー

公益社団法人日本柔道整復師会 山口県 村 井 康彦

須のきらら浜で開催された。 世界スカウトジャンボリーが7月28日から8月8日までの12日間にわたり、 山口県阿知

あり、 超す参加者があった。うち日本人は6500人で会場内は圧倒的に海外からの参加者が多 朝霧高原以来、 実施されている。世界スカウトジャンボリーが日本で開催されるのは、 世界スカウトジャンボリーとは、世界スカウト機構が主催するボーイスカウトの大会で たいへん国際色が豊かだった。 全世界のボーイスカウトの最大行事である。4年に1度開催され、現在までに23回 44年ぶりの2回目となる。 今回は152の国と地域から3万3000人を 昭和46年の静岡県

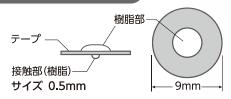
色、宗教、言語を持つ人々が集まっているにもかかわらず、 今回、幸運にも日整開設の柔道整復ブースに参加する機会を得られた。多種多様な肌の スカウトたちの顔には笑顔が

切の争い事を見聞きする 溢れ、会場は歓声に包まれ と強く感じられた大会で 真の仲良く並んだ国旗の を担うこの若者たちが、写 を実現してくれるのでは、 ように、争い事のない未来 とを考えると、各国の将来 ことがなかった。参加者の ていた。場内においても一 主体が、中、高生であるこ

平成27年9月20日発行 公益社団法人 日本柔道整復師会 〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9 電 話 (03)3821-3511 (大代表)

発行人 藤 鉄 男 工 編集者 森 Ш 伸 治 制作・印刷所 東京リスマチック株式会社

拡大イメージ図



プラスチックの粒だから、 肌に優しい!

接触部が樹脂になり、金属アレルギー の方にもご使用いただけます。

使い方も簡単!!

シールを剥がすだけで簡単に 貼れます。一枚のテープに樹脂 を固定しているので、接触部が 取れる心配はほとんどありま せん。

目立たない!

テープ径が9mmと小さいので かぶれにくく目立ちません。





■製造販売業者



〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1 TEL.054-365-5700 FAX.054-365-5139 http://www.seirin.tv

∞ 0120-100890

(通話料無料ダイヤル)

国民年金基金は公的な年金制度であり

- ☆掛金は全額「社会保険料控除」の対象となり 所得税や住民税が軽減されます。
- **☆受け取る年金にも、「公的年金等控除」があり、** 大変有利な扱いとなっています。

税金がこんなに有利!

掛金を収めて いるときは

掛金は全額社会保険料 控除となり、所得税や 住民税が軽減されます。 掛金が年額457.560円の方で課税所得が500万円の 35歳0月の男性の場合(年金月額6万円で加入した場合)

1口目A型(12,710円)、2口目以降A型に4口(6,355円×4口)加入した場合

●年間の掛金 ………

457.560円×(所得税率20.420%+住民税10%) = 139.190円軽減

●実質の負担(年間)…

318,370円になります。

所得税率表

課税 所得額	195万円以下	195万円超~ 330万円以下	330万円超~ 695万円以下	695万円超~ 900万円以下	900万円超~ 1,800万円以下	1,800万円超~
税率	5.105%	10.210%	20.420%	23.483%	33.693%	40.840%



※住民税は一律10%です。

65歳から年金を 受け取るときも

公的年金等控除の対象 となりますので、年金 以外に収入がない場合、 お一人おおむね158万円 までは、税金がかかりま せん。

国民年金 (年金月額) 約6.5万円

国民年金基金 (年金月額) 6万円

年金額 約150万円 (12.5万円×12ヵ月)

公的年金等 控除 120万円

基礎控除 かかりませ 38万円

課税所得が ありません

法金力

国民年金 約6.5万円

国民年金基金 (年金月額) (年金月額) 6万円

年金額 約150万円 (12.5万円×12カ月)

公的年金等 控除 120万円

基礎控除 38万円

語前 かかりません

※国民年金の年金月額の6.5万円は、20歳から60歳までの40年間、保険料を納付した時の平成25年度の満額です。 ※国民年金基金の年金月額は、夫婦とも35歳の月で1口目終身年金A型、またはB型、2口目以降、終身年金A型・B型と確定年金Ⅰ型・Ⅲ型・Ⅲ型・Ⅳ型・Ⅴ型・Ⅴ型のうち、7つの型から4口選んだ場合。

【年金額・掛金額例】1 口目A型の場合 (月額)

	加入時年齢	年金月額	掛金月額		加入時年齢	年金月額	掛金月額
1988	25歳0月	20,000円	8,370円		25歳0月	20,000円	9,780円
男	30歳0月	20,000円	10,170円	女	30歳0月	20,000円	11,880円
Lat	35歳0月	20,000円	12,710円		35歳0月	20,000円	14,850円
性	40歳0月	15,000円	12,405円	14	40歳0月	15,000円	14,490円
30	45歳0月	15,000円	17,235円		45歳0月	15,000円	20,115円
100	50歳0月	10,000円	17,940円		50歳0月	10,000円	20,930円

※加入の型などお悩みでしたら、ご希望に合うマイプランをお作りすることも可能です。お気軽にお問合せください!!

お問い合わせ

日本柔道整復師国民年金基金 2010120-305205

安心のためにできることのすべてを

損保ジャパンと日本興亜損保は2014年9月1日に合併し、新会社「損保ジャパン日本興亜」

としてスタートいたしました。日本でいちばん大きな安心をお届けするために、これまでの損保に

できなかったことに取り組み、これからの損保に本当に必要なサービスを提供してまいります。

損害保険シャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 Tel: 03(3349)3111 http://www.sjnk.co.jp/

日本柔道整復師 協同組合員 のみなさまへ

毎月ご加入 できます!

日整協同組合「新・柔道整復師賠償保険制度」は 「鍼灸師賠償」がオプションとして加入できます!!

「新・柔道整復師賠償保険」では、「柔道整復師業務」の賠償事故だけでなく、任意オプションで 「鍼灸師などの業務」「日常生活」「個人情報漏えい」の賠償事故も補償できます!!

基本プラン

4

4

任意オプションプラン(任意に1つからでも選択できます)

「基本プラン」は以下による賠償事故を補償します!

「柔道整復師業務」

(柔道整復師特約) 「院内施設の不備」

「院内施設でのケガ見舞金 (傷害見舞費用担保特約)

(施設危険担保特約)

鍼灸師などの業務

「任意オプションプラン」は以下による賠償事故を補償します!

②「日常生活」

(個人賠償責任保険)

③「個人情報漏えい」 (個人情報取扱事業者保険)

*「任意オプションプラン」だけでのご加入はできません。必ず「基本プラン」とのセットでのご加入となります

総合補償制度(所得補償•医療補償等)<<

病気・ケガ・交通事故による所得減・医療費等をトータルで補償します!!

(所得補償保険、新・団体医療保険、交通事故傷害保険) 40%割引!

(団体割引20%+過去の損害率による割引25%)

日整協同組合 ならではの 割引です!

(団体長期障害所得補償保険) 20%割引!

(団体割引20%)

ご契約の際、被保険者数が1,000名未満もしくは5,000名以上になった場合、保険料が変更となります。

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店にお問い合わせください。 <引受保険会社>

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3 団体・公務開発部 第二課

(TEL)03-3593-6453 (FAX)03-3593-6751

< 取扱幹事代理店>

アームリンク 株式会社

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-43-6 真塩ビル2F (TEL)027-255-3233 (FAX)027-280-4659

SJNK14-06221 (2014.8.6)

毎月ご加入 できます

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

笑顔を、まもる。

「最高品質の安心とサービスをご提供することで、 お客さま一人ひとりの輝く笑顔を見守りつづけたい」 これが損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の想いです。



損保ジャパン日本興亜 ひまわり生命

くお問い合わせ先>

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社 群馬支社 〒371-0023

群馬県前橋市本町1-4-4 損保ジャパン日本興亜前橋ビル7階 TEL 027-223-5126 FAX 027-223-5136

<本社>

〒163-8626

東京都新宿区西新宿6-13-1 新宿セントラルパークビル TEL 03-6742-3111(代表)

ホームへ°ーシ*アト*レス http://www.himawari-life.co.jp

ご存知ですか? 「がん」で亡くなる方は、 交通事故による死亡者数の

約 83倍

平成25年 交通事故死亡者数

平成26年 警察庁交通局 交通企画課 平成25年 がんによる死亡者数

364,872_人

厚生労働省 平成25年人口動態統計

「やっぱりがん保険に加入しておこう。 でも、がん保険も色々あってどれを選べば良いか…」



と、お悩みの方。



がん専門相談サービスプレミアサポート」をご利用いただけますプレミアサポートは㈱法研が提供するサービスです

訪問面談サービス

専門医紹介

【 Aプラン(入院給付金日額10,000円)保障内容】 保険期間:終身(抗がん剤治療特約は10年)

診断 給付金	1 回限り がん 100 万円 よ皮内 10 万円	
入院 給付金	1日につき 10,000円	2
通院 給付金	1日につき 10,000円	
手術 治療給付金	1回につき 20 万円	
放射線 治療給付金	1回につき 20 万円	
抗がん剤 治療給付金 ※上皮内新生物は保障対象外	治療を 10 万円 受けた 月ごと 給付倍率 2 倍	10年 満期 ^{自動更新}

「入院」も「通院」* も 通算の日数に制限なく保障

* 手術·放射線治療·抗がん剤治療のための通院はもちろん、 入院後の通院も退院後365日以内なら日数に制限なく保障

「一時金 (特約診断給付金)」で 再発などに備える特約をプラス することもできます

(診断給付金複数回支払特約)

【新Days Aプラン (入院給付金日額10,000円)解約払戻金なしタイプ定額タイプ保険料例】

40	歳	50	歳	60 歳	
男性	女性	男性	女性	男性	女性
4,270 ⊨	4,590 ⊨	6,920 ⊨	5,940 ⊨	11,490 ⊨	7,270 ⊨

(2014年12月22日現在)集団取扱 月払

詳細につきましては「契約概要」等をご覧ください。

詳しい資料をご希望の方は、国際保険㈱までお気軽にお電話ください。

0120-5931-98 営業時間 平日 (月~金) 9:00~17:15

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

募集代理店

国 際 保 険 株 式 会 社 東京都渋谷区千駄ケ谷5丁目15-5 DSL*ル4F Tel.03-3354-5931 引受保険会社



首都圏総合支社

〒 160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウェスト17階 お問合せ・各種お手続き コールセンター 0120-5555-95

公益社団法人日本柔道整復師会の皆さまへ

MS&AD 三井住友海上

柔道整復師会総合賠償保険

(柔道整復師特別約款・施設所有(管理)者特別約款) 昭和47年より日本柔道整復師会の会員の皆さまを 柔道整復業務にかかわる事故からお守りしています。

> 保険期間:毎年 11 月 1 日から1年間 募集期間:9月~10月下旬

【特徴】

- ●日本柔道整復師会と三井住友海上とが会員の皆さまのために開発した保険です。
- ●地域支援事業における介護予防事業に従事中の事故も補償いたします。
- ●患者様が施術所内でのケガにより通院された場合の患者様へのお見舞金等も補償いたします。

団体長期障害所得補償保険(GLTD)·所得補償保険

病気・ケガでの休業を補償いたします。

保険期間:毎年8月1日から1年間

補償期間:お申込日の翌月1日午後4時~平成28年8月1日午後4時 ※随時中途加入のお申込みを受け付けております。

【特徴】

- ●業務中・業務外を問わず病気・ケガで就業不能となり、休診された時の収入を補償します。
- ●保険料はそれぞれ下表の割引が適用されており、個人でご契約されるよりお得です。

保険種類	団体割引率(注1)	損害率による割引 ^(注2)	合計割引率
団体長期障害所得補償保険(GLTD)	15%	_	15%
所得補償保険	20%	40%	52%

- (注1) 前年度ご加入いただいた被保険者の人数に従って割引率が適用されます。
- (注2) 損害率により、毎年割引率が見直しされます。
- 上記割引率は平成27年8月1日に保険期間を開始した契約のものです。
- ※この内容は保険の特徴を説明したものです。詳しい内容については、専用パンフレット「日本柔道整復師会総合賠償保険のご案内」「日本柔道整復師会団体長期障害所得補償保険(GLTD)・所得補償保険・団体総合生活補償保険 (MS&AD 型)のおすすめ」をご参照いただくか取扱代理店または三井住友海上の営業店にお問い合わせください。

<団体窓口>

公益社団法人日本柔道整復師会 事務局 TEL03-3821-3511

<引受保険会社>

<主要取扱代理店>

三井住友海上火災保険株式会社

株式会社ウーベル保険事務所

広域法人部営業第一課

〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-5 ニュー新富ビル 8F

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-11-1 TEL03-3553-8552 FAX03-3553-8553

TEL03-3259-6692 FAX03-3259-7218

働けなくても、暮らしは続く。 あなたと家族を守る 安心の特約を フコク生命からお届けします。



就業不能保障特約

長期にわたる入院や在宅療養で働くことができない状態になったとき、 働けないことで不足する収入をカバーし、家計を経済的にささえます。



「はたらくささえ」は、 「未来のとびら」に ご契約いただくと付加できる特約です。

ご検討の際には、「保険設計書(契約概要)」「特に重要な事項のお知らせ(注意喚起情報)」 「ご契約のしおり - 定款・約款」を必ずご確認ください。

富国生命保険相互会社 業務部 法人市場グループ〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2 TEL: 03-3593-7427

登広 - 法市 -1732(H27.5.26)

すてきな未来応援します フコク生命

伝統と歴史を刻み、 進化す<u>る未来へ。</u>

具竹学園は、 今までも、これからも、 時代に適応した人材を育成し、 社会に貢献する努力を続けます。





http://www.kuretake.ac.jp/

『東京医療専門学校

〒160-0008 東京都新宿区三栄町3

TEL:03-3341-4043

伝統医療と現代理論の融合。

東京医療専門学校は、十分な知識・技術を持った上で 柔軟な思考のできる懐の深い医療人の育成を目指します。

▼ 呉竹鍼灸柔整専門学校 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24 TEL:045-471-3731

社会の信頼と尊敬を得る医療人の育成。

呉竹鍼灸柔整専門学校は、人格形成に力を注いだ教育により 社会の信頼と尊敬を得る医療人を育成します。



「 呉 竹 医 療 専 門 学 校 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1 TEL:048-658-0001

社会ですぐに活躍できる"あなた"になるために。

医の東西を問わず十分な知識と技術を備え、 全人的医療を施すことの出来る医療人を育成します。



東京リスマチックの ノベルティプリントサービス

Lithmatic

~用途に合わせて、1つからでもオリジナルスペシャルアイテムを作成~

モノがあふれている時代だからこそ、他にはないオリジナル商品を

幅広くご提案いたします。

Tシャツ、ポロシャツ、パーカー、ブルゾン、キャップといったアパレルウェアをはじめ、 マグカップ、トートバッグ、文具製品、雑貨、スマートフォンケース、etc…。 様々な素材に最適な方法で高品質なプリントをご提供いたします。 特別な記念の1点物から、効果的なプロモーション用としての大量生産まで、 ぜひお任せください。

創造性の高い、アイディアを詰め込んだ、オリジナリティあふれる商品作成を お手伝いさせていただきます。



イベント会場で

▶全面総柄プリントTシャツ/

オリジナルイラストや 写真などの絵柄を Tシャツ全面にプリント! 1枚から作れます。

例えば

※昇華印刷 胸全面Mサイズの場合

10枚 27,398円



▶ハッピ

イベントを盛り上げる オリジナルのハッピ です。ハッピ全面オリ ジナルプリントも 可能です。

例えば

商品名:イベントハッピ 型 番:215-EH 2ヶ所1色の場合

10枚 56,056円



▶イベントキャップ/

メッシュタイプから コットンタイプまで、 様々な素材のキャップ をご用意いたします。

例えば

商品名:イベントキャップ 型 番:700-EVM ※フルカラー転写 1ヶ所フルカラーの場合

10個 15,796円



▶ポロシャツ

初夏に向けたクール ビズ対策として、 カジュアルデー用 として、名入れポロ シャツが人気です。

例えば

商品名:ベーシックレイヤードポロシャツ 番:195-BYP ※フルカラー転写 1ヶ所フルカラーMサイズの場合 10枚 26,630円



▶イベントブルゾン

光沢感がきれいなナイ ロンは肌触りもしなや か。軽量なので動きや すく、着心地も抜群で

例えば

商品名:お買得イベントブルゾン ※シルクスクリーン 1ヶ所1色の場合

10枚 38.500円



▶タオル

ノベルティや贈り物にオリ ジナルのタオルはいかが でしょう?豊富なカラーバ リエーションでオリジナリ ティを演出できます。

例えば

商品名:カラーマフラータオル 番:538-CMT ※シルクスクリーン 1ヶ所1色の場合

10個 30.926円



ノベルティで

▶トロフィー・楯

人生の数あるメモリ アルに・・・。入学や卒 業・創立記念としてお 勧めです。

【例えば】

商品名:プチクラークシャープ ※レーザープリント 1カ所の場合

1個 6.735円



▶名入れボールペン

ノベルティの定番名 入れボールペン。社内 外の様々なシーンで コストを抑えたノベ ルティとして最適です。

商品名: イークリップボールペン100本セット

100本 22.593円

▶オリジナルノート 入社式や記念行事な

ど、特別なイベントで の名入れノベルティと して効果を発揮します。



各種ノベルティお見積りいたします

※掲載価格は「税抜き」価格です。 平成27年8月現在

という は、日本全国で最も多く使われている

接骨院・整骨院専用のレセコンです!

使い勝手の良い操作性はもちろん、 療養費改正等の保険改正にすばやく対応。 迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、 常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



他社が長さい。













株式会社エス・エス・ビー

本 社 〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

営業所 札幌、青森、仙台、北陸、長野、名古屋、関西、中国四国、福岡、鹿児島

WEB http://www.sanshiro-net.co.jp

最新柔整情報が読める!!柔整ホットニュース ▶▶▶ http://www.jusei-news.com/



柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民国民医療の一端として柔道整復術は、そかれに広く受け入れられ、民族医学として伝育的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 3、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規2、現立を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 接する。
 患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、

法を守り、業務を遂行する。

わらず患者の回復に全力を尽くす。人種、信条、性別、社会的地位などにかか5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、